

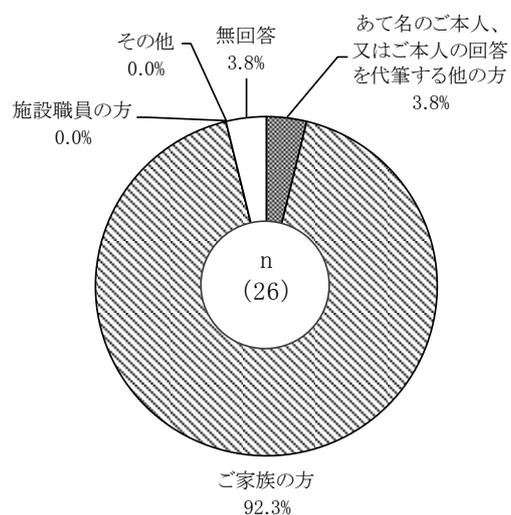
5 発達障害のある18歳未満の方とその保護者

5 発達障害のある18歳未満の方とその保護者

(1) 回答者について

問1 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(〇は1つ)

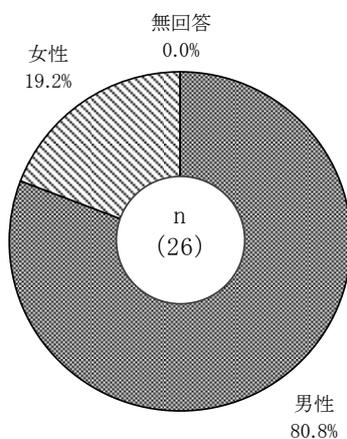
「ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）」の割合が92.3%と最も高くなっています。



(2) 本人について

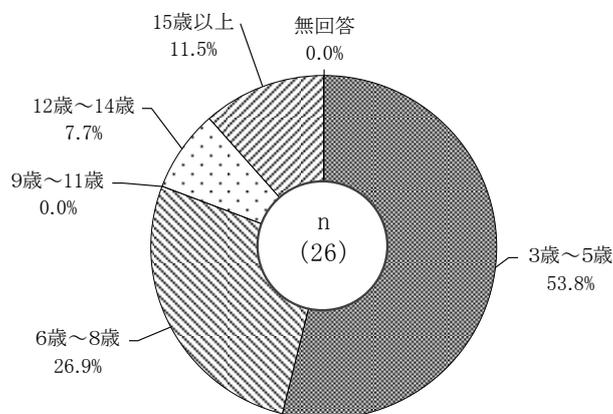
問2 あなたの性別をおたずねします。(○は1つ)

「男性」の割合が80.8%、「女性」の割合が19.2%となっています。



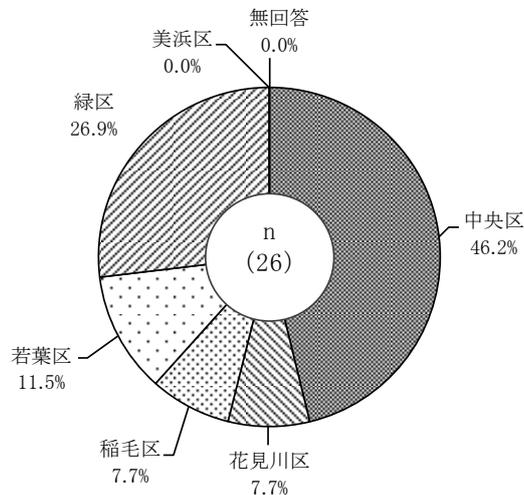
問3 あなたの年齢について、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

「3歳～5歳」の割合が53.8%と最も高く、次いで「6歳～8歳」の割合が26.9%、「15歳以上」の割合が11.5%となっています。



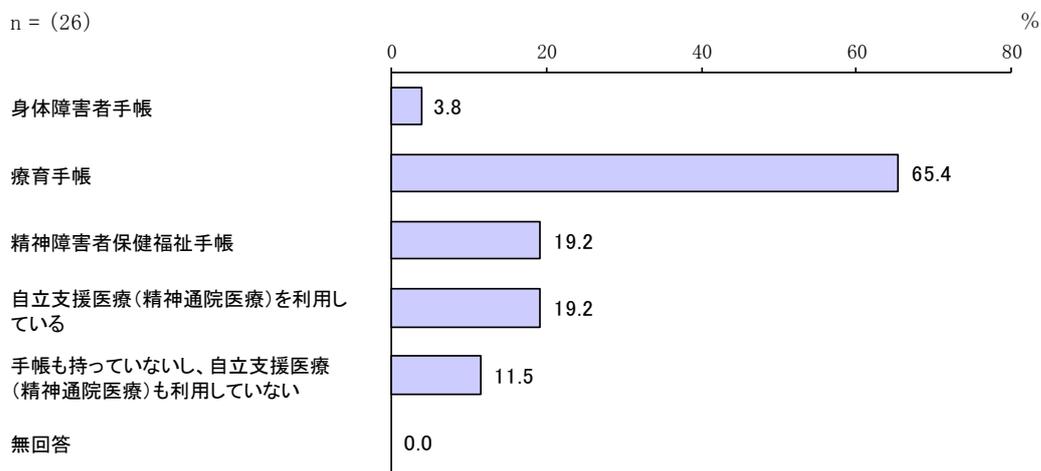
問4 あなたのお住まいの区をおたずねします。(〇は1つ)

「中央区」の割合が46.2%と最も高く、次いで「緑区」の割合が26.9%、「若葉区」の割合が11.5%となっています。



問5 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。(〇はいくつでも)

「療育手帳」の割合が65.4%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」、「自立支援医療（精神通院医療）を利用している」の割合が19.2%となっています。

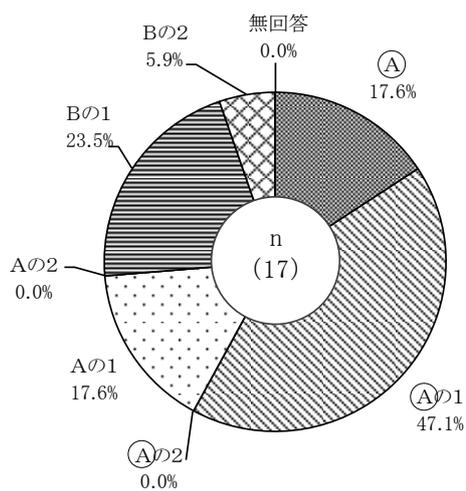


1. 身体障害者手帳の等級

「1級」が1件となっています。

2. 療育手帳の程度

「Aの1」の割合が47.1%と最も高く、次いで「Bの1」の割合が23.5%、「A」、 「Aの1」の割合が17.6%となっています。



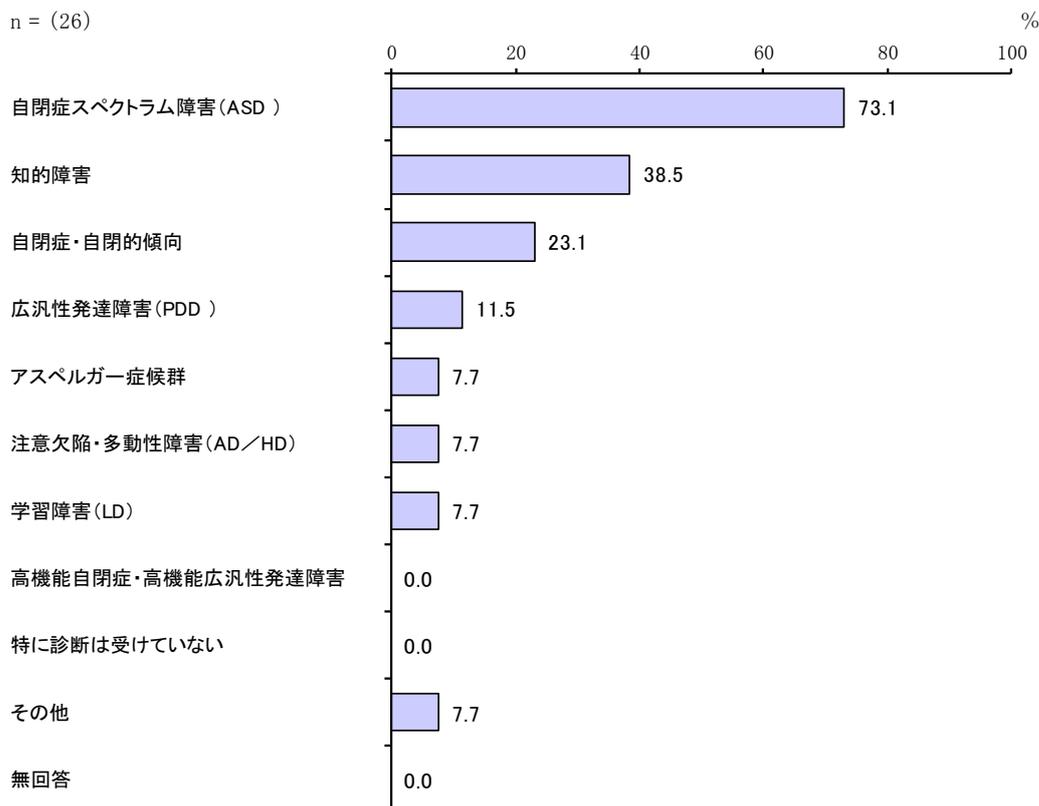
3. 精神障害者保健福祉手帳の等級

「2級」が4件となっています。「3級」が1件となっています。

問6 あなたが受けている最新の診断名をお聞きします。(〇はいくつでも)

「自閉症スペクトラム障害 (ASD)」の割合が 73.1%と最も高く、次いで「知的障害」の割合が 38.5%、「自閉症・自閉的傾向」の割合が 23.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「自閉症スペクトラム障害 (ASD)」、「知的障害」、「自閉症・自閉的傾向」の割合が増加し、「広汎性発達障害 (PDD)」、「注意欠陥・多動性障害 (AD/HD)」、「高機能自閉症・高機能広汎性発達障害」の割合が減少しています。



【平成 28 年度調査】

単位: %

	調査数	自閉症スペクトラム障害 (ASD)	知的障害	自閉症・自閉的傾向	広汎性発達障害 (PDD)	アスペルガー症候群	注意欠陥・多動性障害 (AD/HD)	学習障害 (LD)	高機能自閉症・高機能広汎性発達障害	特に診断は受けていない	その他
全体	34	67.6	23.5	5.9	17.6	11.8	23.5	5.9	5.9	2.9	5.9

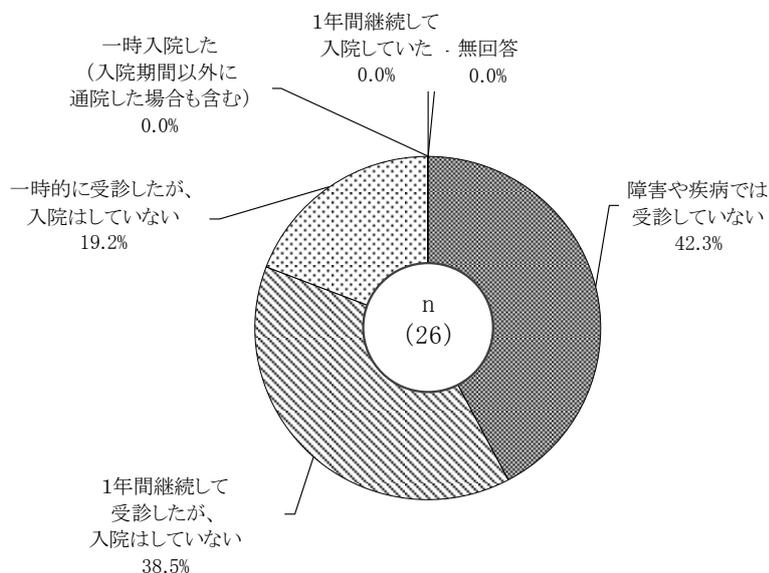
問7 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

有効回答がありませんでした。

(3) 医療機関への受診状況について

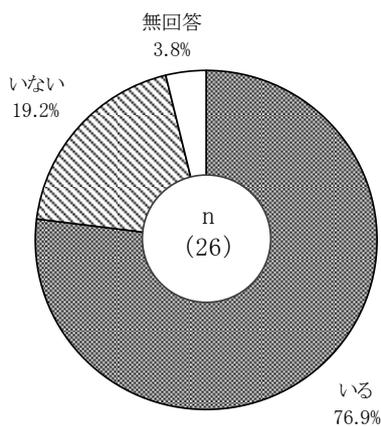
問8 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。
(〇は1つ)

「障害や疾病では受診していない」の割合が42.3%と最も高く、次いで「1年間継続して受診したが、入院はしていない」の割合が38.5%、「一時的に受診したが、入院はしていない」の割合が19.2%となっています。



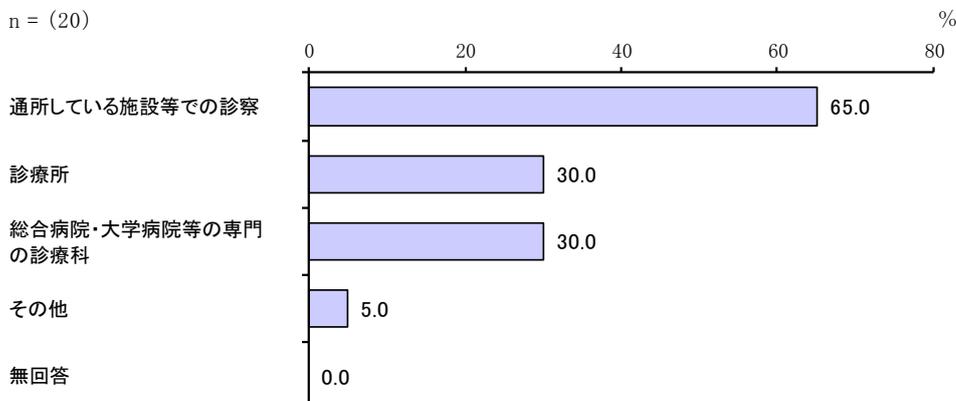
問9 あなたは障害や疾病について、相談や治療をしてくれる身近な医師等(かかりつけ医)はいますか。(〇は1つ)

「いる」の割合が76.9%、「いない」の割合が19.2%となっています。



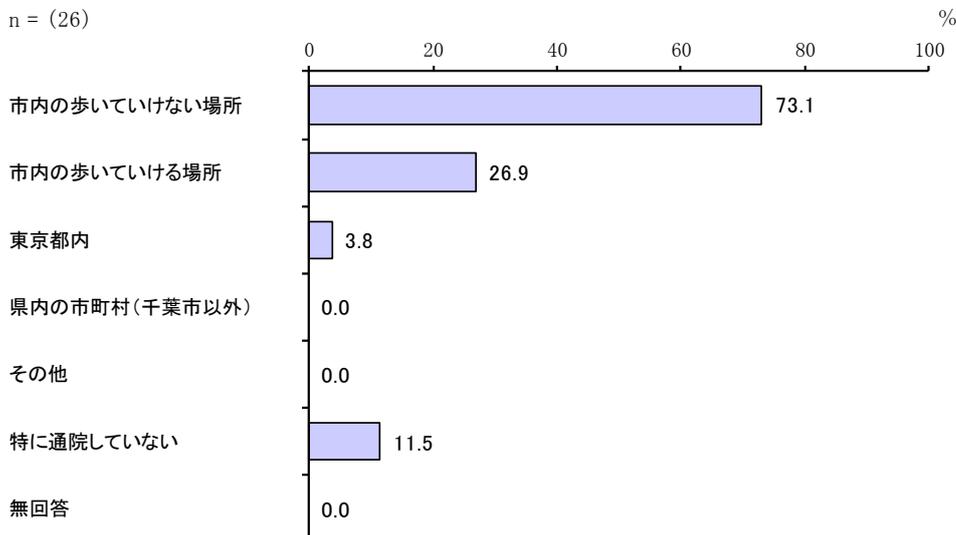
**問 10 【問9で身近な医師等（かかりつけ医）がいると回答した方におたずねします。】
その医療機関はどのようなものですか。（〇はいくつでも）**

「通所している施設等での診察」の割合が 65.0%と最も高く、次いで「診療所」、「総合病院・大学病院等の専門の診療科」の割合が 30.0%となっています。



問 11 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこにある病院や診療所に通院していますか。（〇はいくつでも）

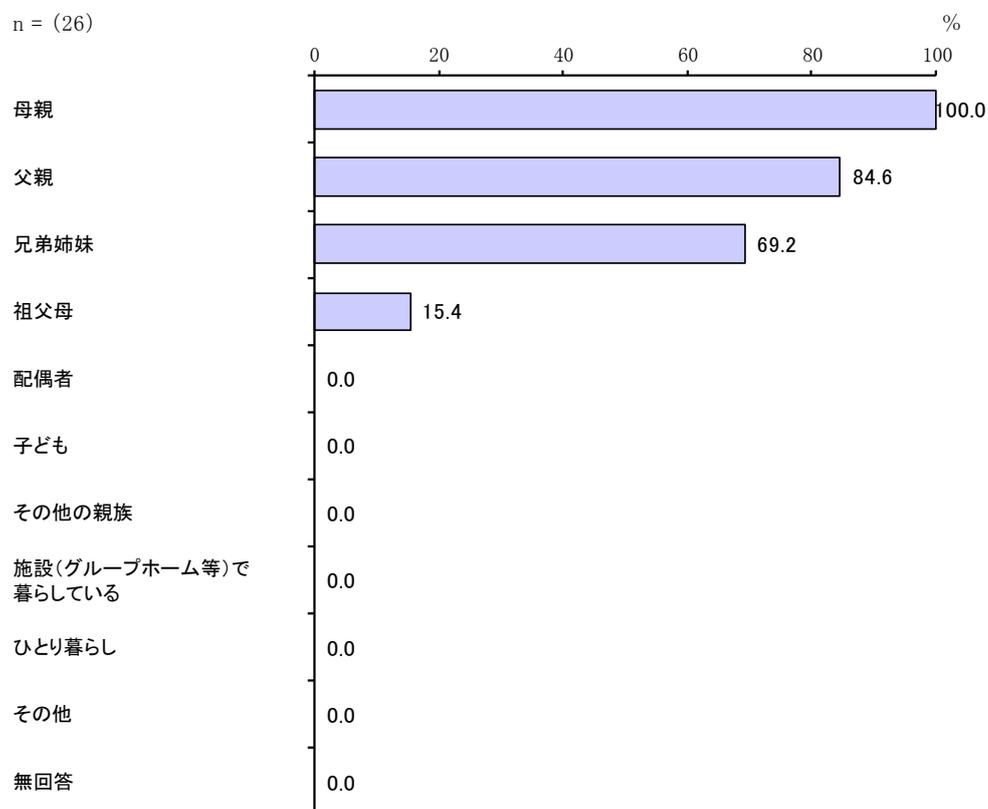
「市内の歩いていけない場所」の割合が 73.1%と最も高く、次いで「市内の歩いていける場所」の割合が 26.9%、「特に通院していない」の割合が 11.5%となっています。



(4) 家族や介助者について

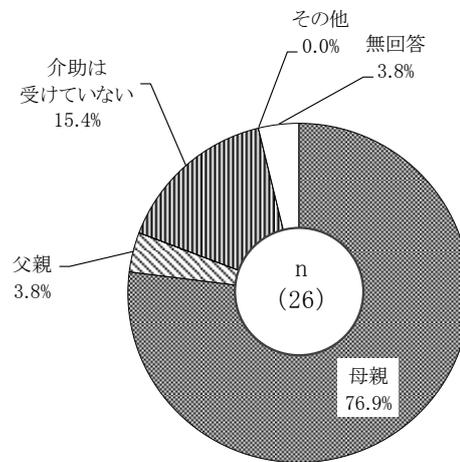
問12 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

「母親」の割合が100.0%と最も高く、次いで「父親」の割合が84.6%、「兄弟姉妹」の割合が69.2%となっています。



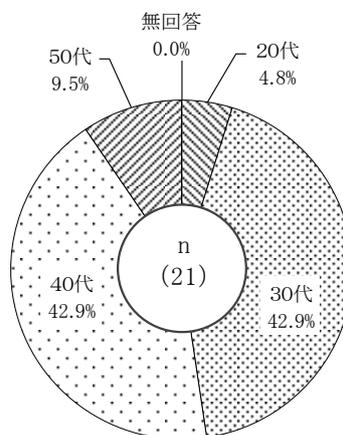
問 13 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

「母親」の割合が76.9%と最も高く、次いで「介助は受けていない」の割合が15.4%となっています。



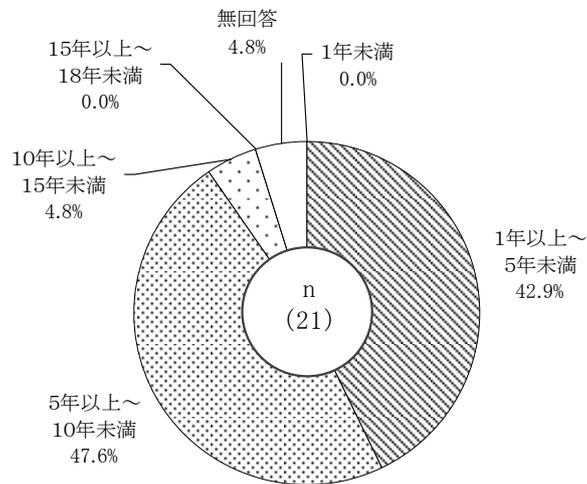
問 14 【問 13 で主な介助者が家族・親族に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者の方の年齢をお答えください。(○は1つ)

「30代」、「40代」の割合が42.9%と最も高くなっています。



問 15 【問 13 で主な介助者が家族・親族に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者の介助継続年数をお答えください。(○は1つ)

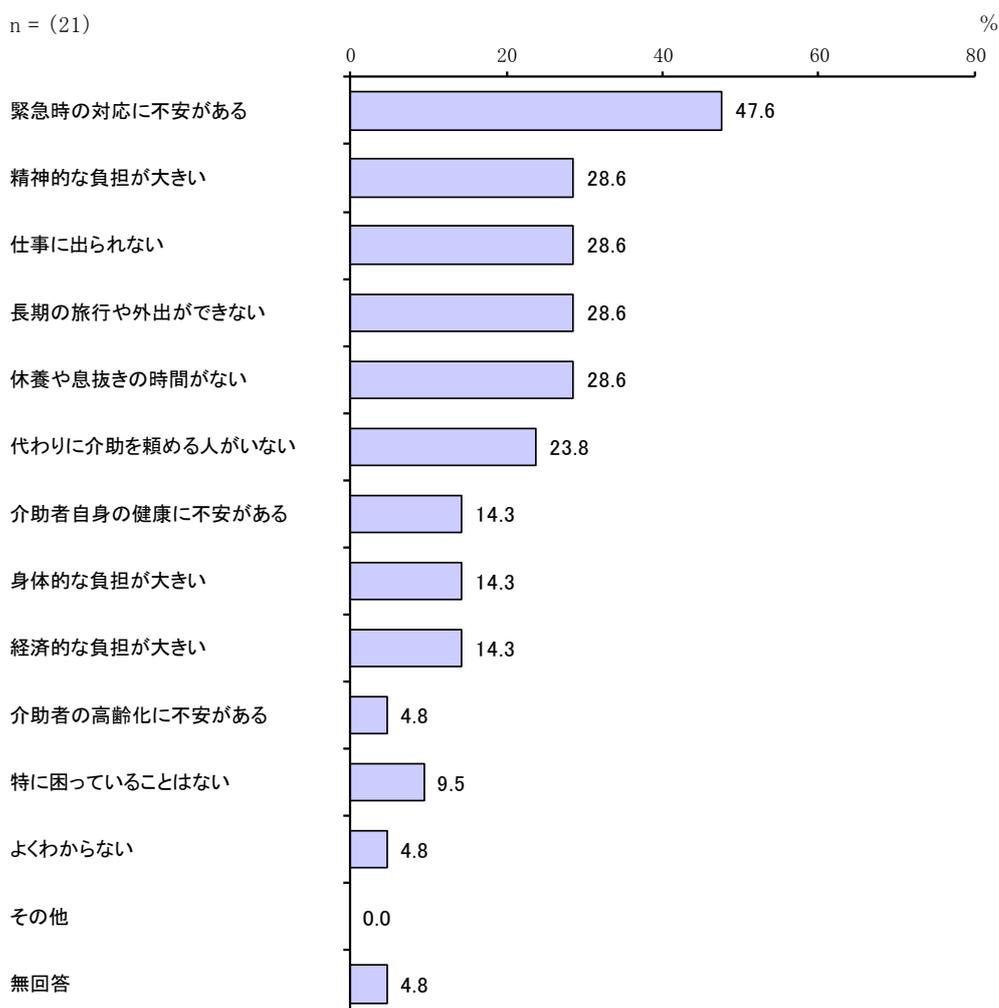
「5年以上～10年未満」の割合が47.6%と最も高く、次いで「1年以上～5年未満」の割合が42.9%となっています。



問 16 【問 13 で主な介助者が家族・親族に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

「緊急時の対応に不安がある」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「精神的な負担が大きい」、「仕事に出られない」、「長期の旅行や外出ができない」、「休養や息抜きの時間がない」の割合が 28.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「緊急時の対応に不安がある」、「長期の旅行や外出ができない」の割合が増加し、「精神的な負担が大きい」、「代わりに介助を頼める人がいない」、「介助者自身の健康に不安がある」、「身体的な負担が大きい」、「経済的な負担が大きい」、「介助者の高齢化に不安がある」の割合が減少しています。



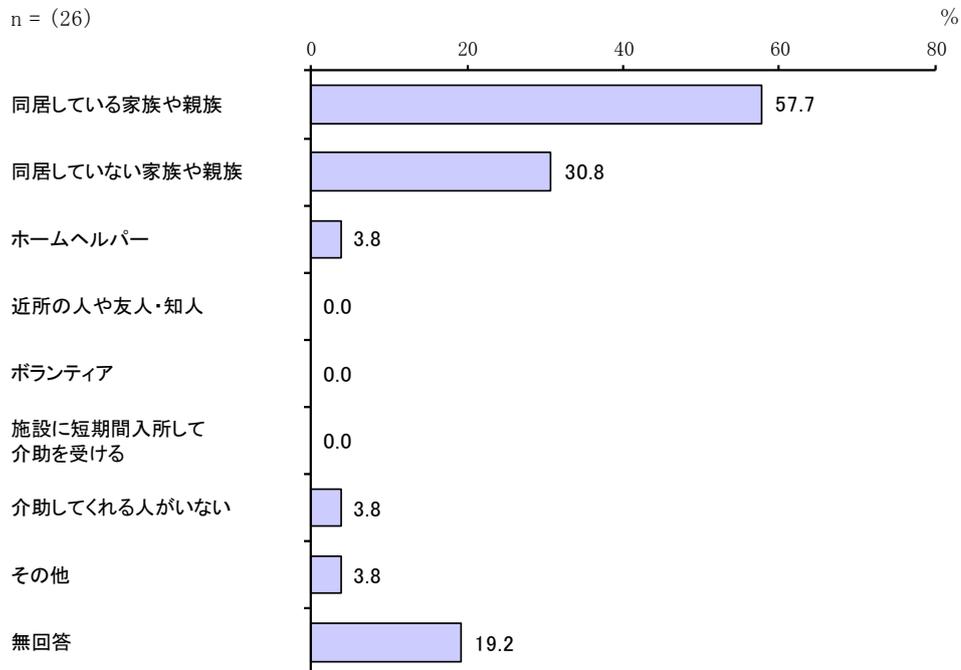
【平成 28 年度調査】

単位: %

	調査数	緊急時の対応に不安がある	精神的な負担が大きい	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	代わりに介助を頼める人がいない	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	介助者の高齢化に不安がある	特に困っていることはない	よくわからない	その他
全体	120	25.0	53.6	32.1	17.9	32.1	46.4	32.1	21.4	21.4	21.4	10.7	3.6	-

問 17 主な介助者が、病気の時や外出をしなければならないときなどは、代わりにどなたが介助していますか。(〇は3つまで)

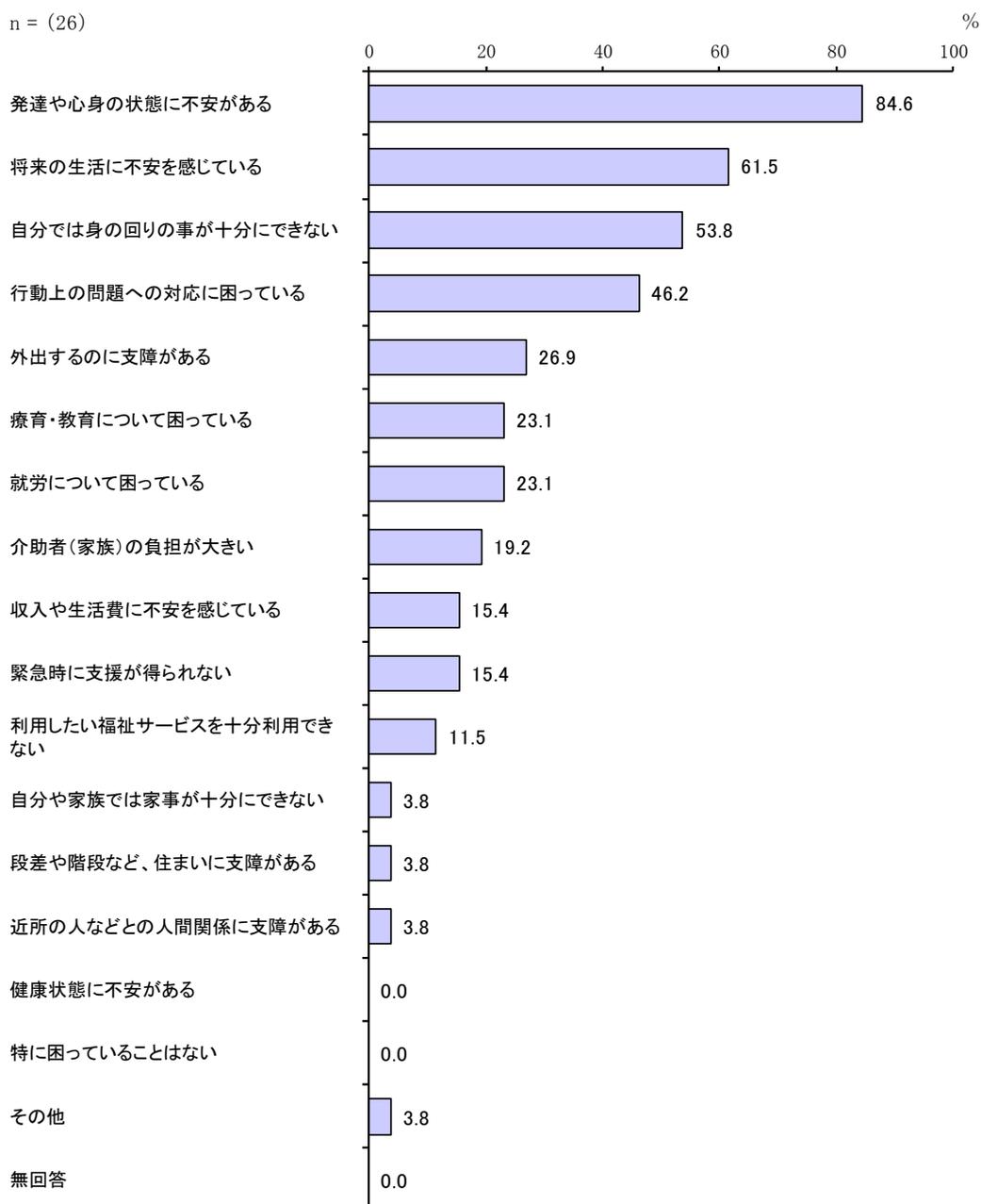
「同居している家族や親族」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「同居していない家族や親族」の割合が 30.8%となっています。



(5) 相談や情報入手について

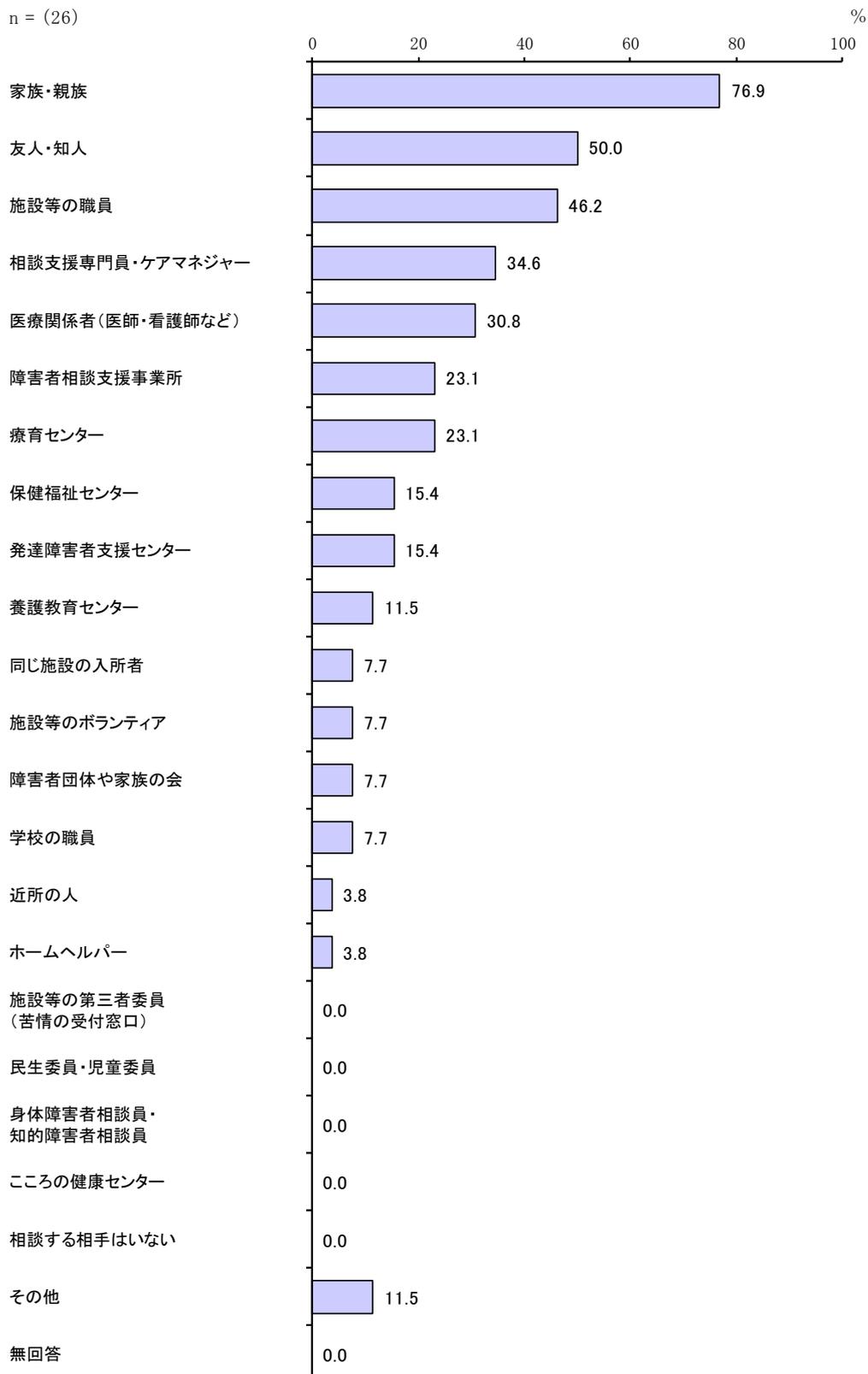
問18 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。
（〇はいくつでも）

「発達や心身の状態に不安がある」の割合が84.6%と最も高く、次いで「将来の生活に不安を感じている」の割合が61.5%、「自分では身の回りの事が十分にできない」の割合が53.8%となっています。



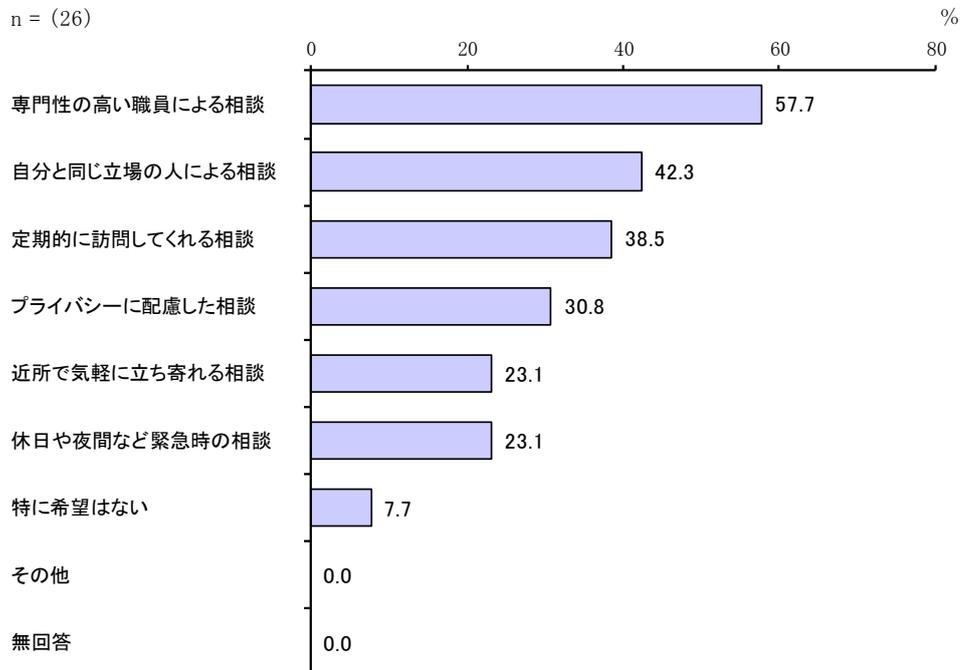
問 19 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。
（〇はいくつでも）

「家族・親族」の割合が76.9%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が50.0%、「施設等の職員」の割合が46.2%となっています。



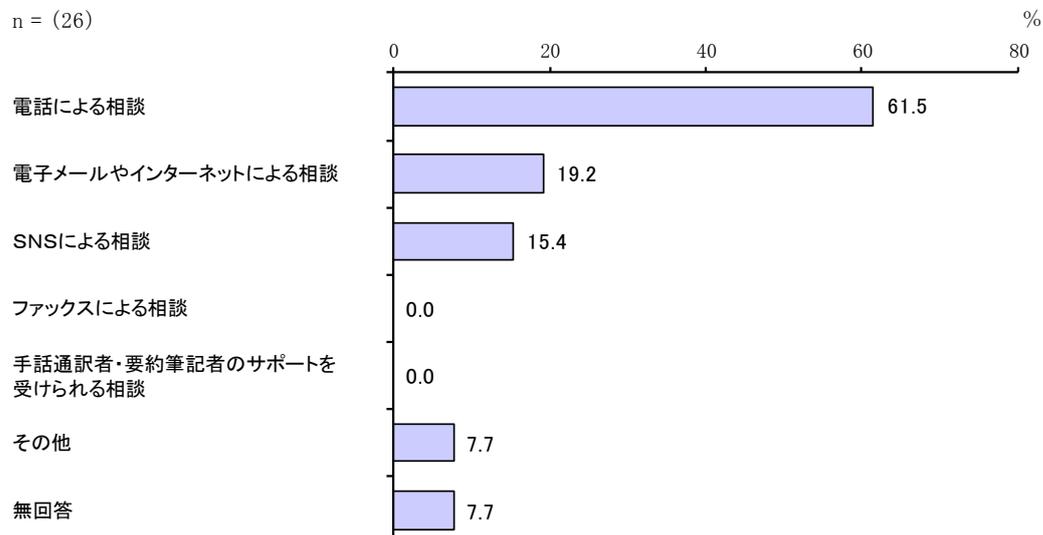
問 20 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

「専門性の高い職員による相談」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「自分と同じ立場の人による相談」の割合が 42.3%、「定期的に訪問してくれる相談」の割合が 38.5%となっています。



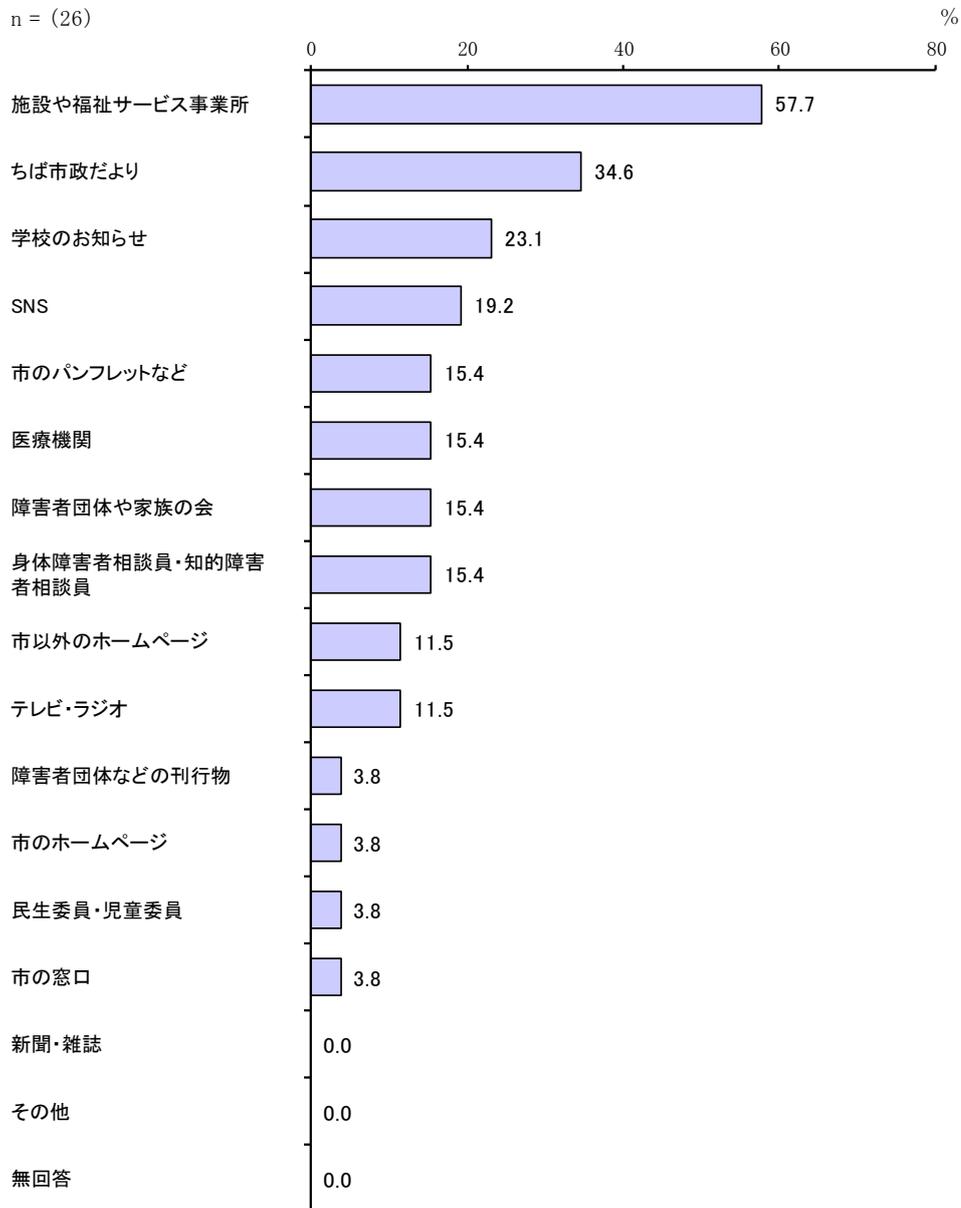
問 21 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（〇はいくつでも）

「電話による相談」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」の割合が 19.2%、「SNSによる相談」の割合が 15.4%となっています。



問 22 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

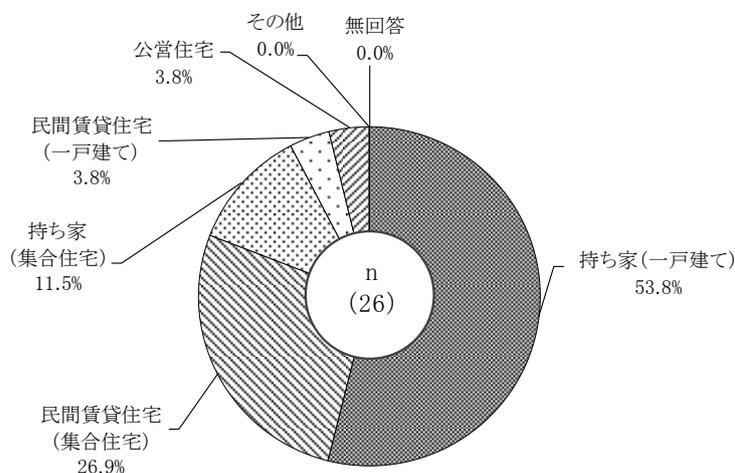
「施設や福祉サービス事業所」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「ちば市政だより」の割合が 34.6%、「学校のお知らせ」の割合が 23.1%となっています。



(6) 暮らしについて

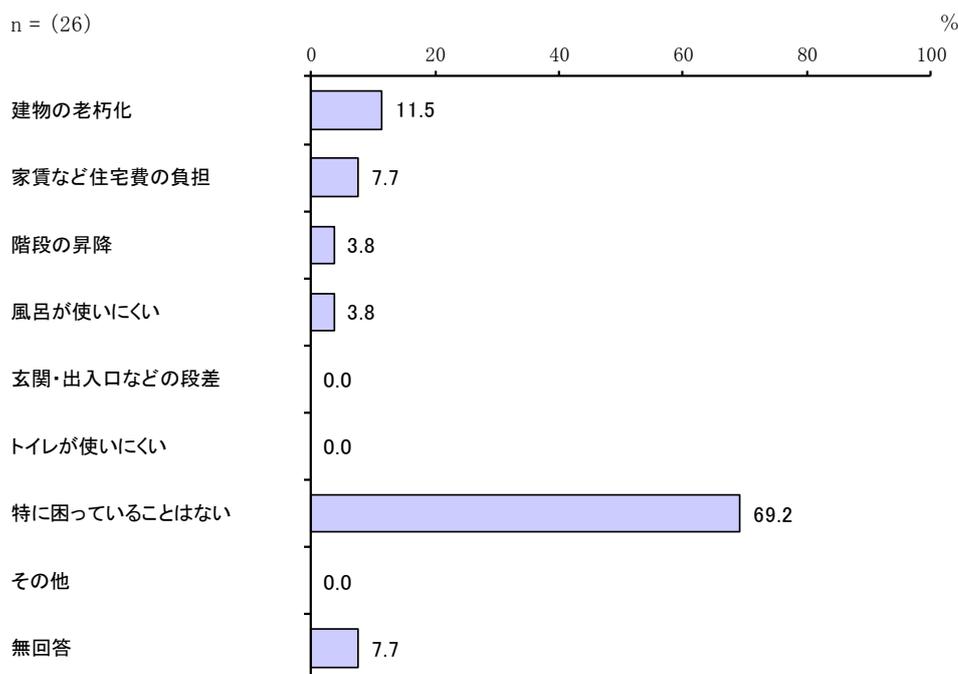
問 23 あなたのお住まいの種類をお聞きします。(〇は1つ)

「持ち家（一戸建て）」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」の割合が 26.9%、「持ち家（集合住宅）」の割合が 11.5%となっています。



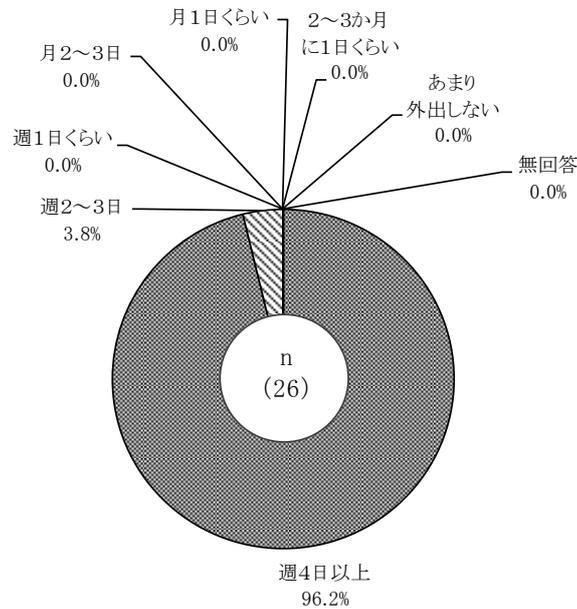
問 24 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「特に困っていることはない」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「建物の老朽化」の割合が 11.5%となっています。



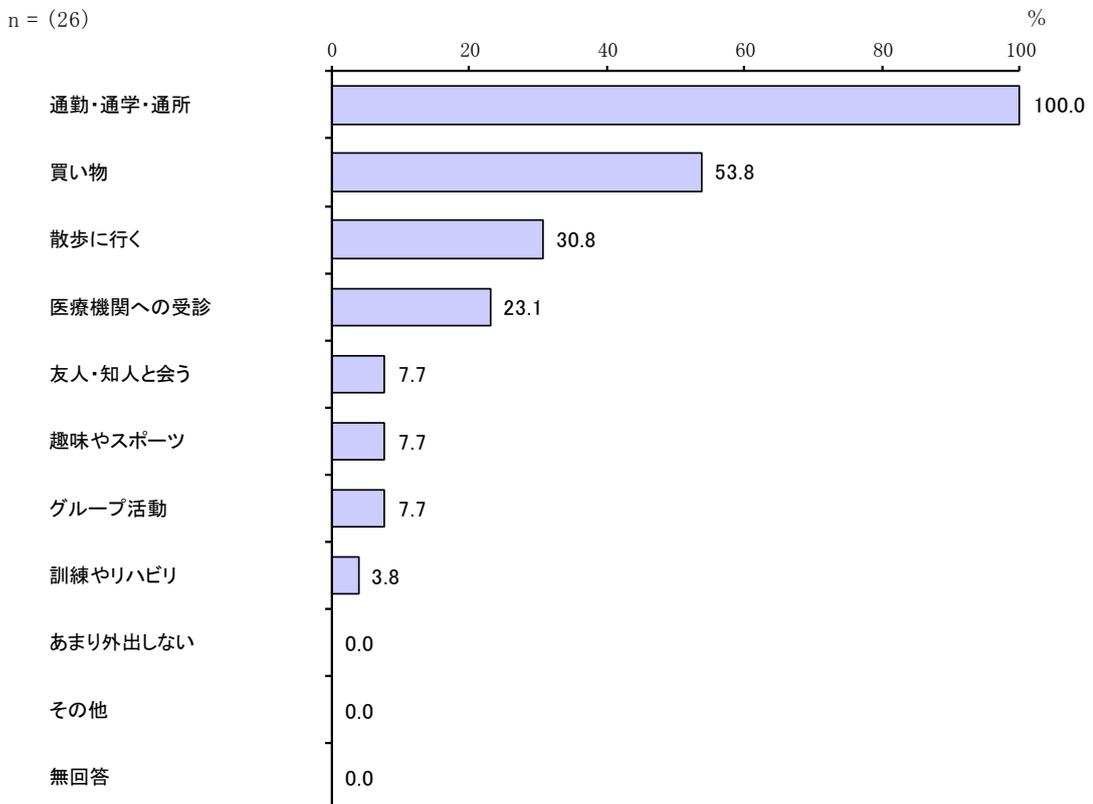
問 25 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

「週4日以上」の割合が96.2%と最も高くなっています。



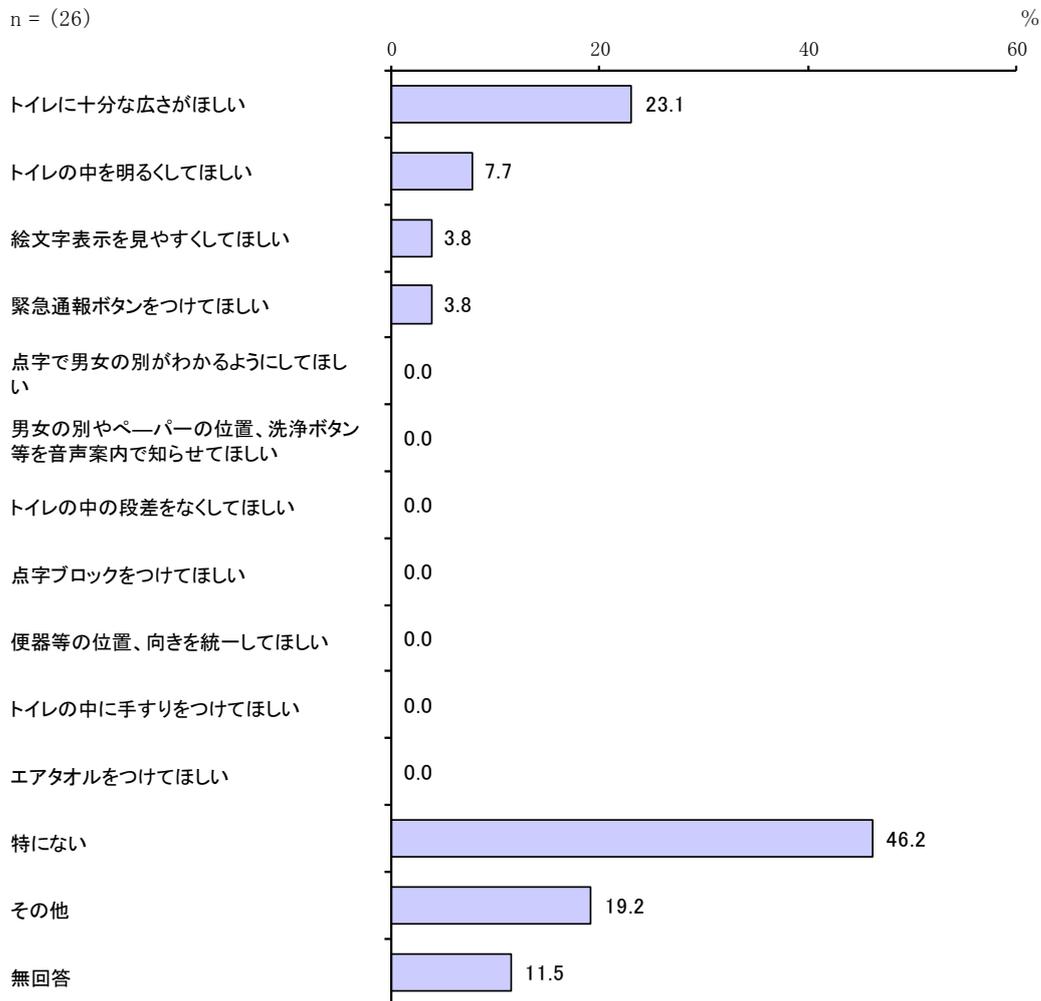
問 26 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(○はいくつでも)

「通勤・通学・通所」の割合が100.0%と最も高く、次いで「買い物」の割合が53.8%、「散歩に行く」の割合が30.8%となっています。



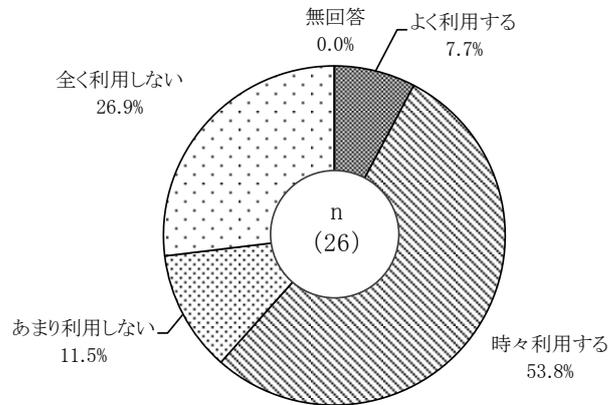
問 27 外出先のトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

「特にない」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「トイレに十分な広さがほしい」の割合が 23.1%となっています。



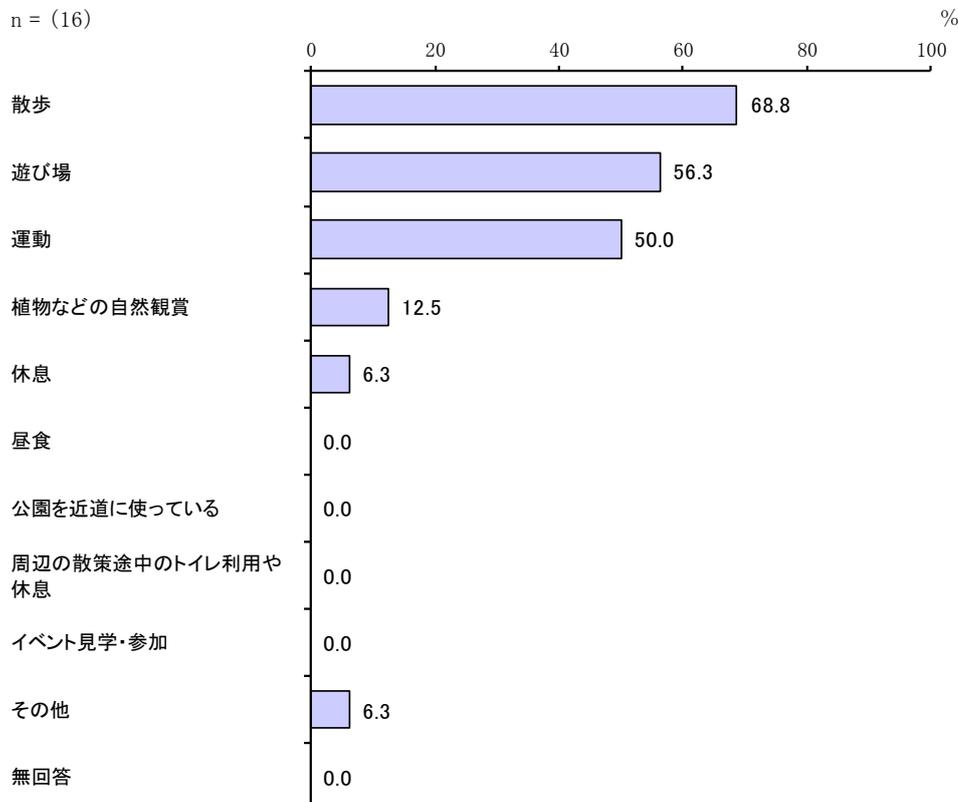
問 28 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

「よく利用する」と「時々利用する」をあわせた“利用する”の割合が 61.5%、「あまり利用しない」と「全く利用しない」をあわせた“利用しない”の割合が 38.4%となっています。



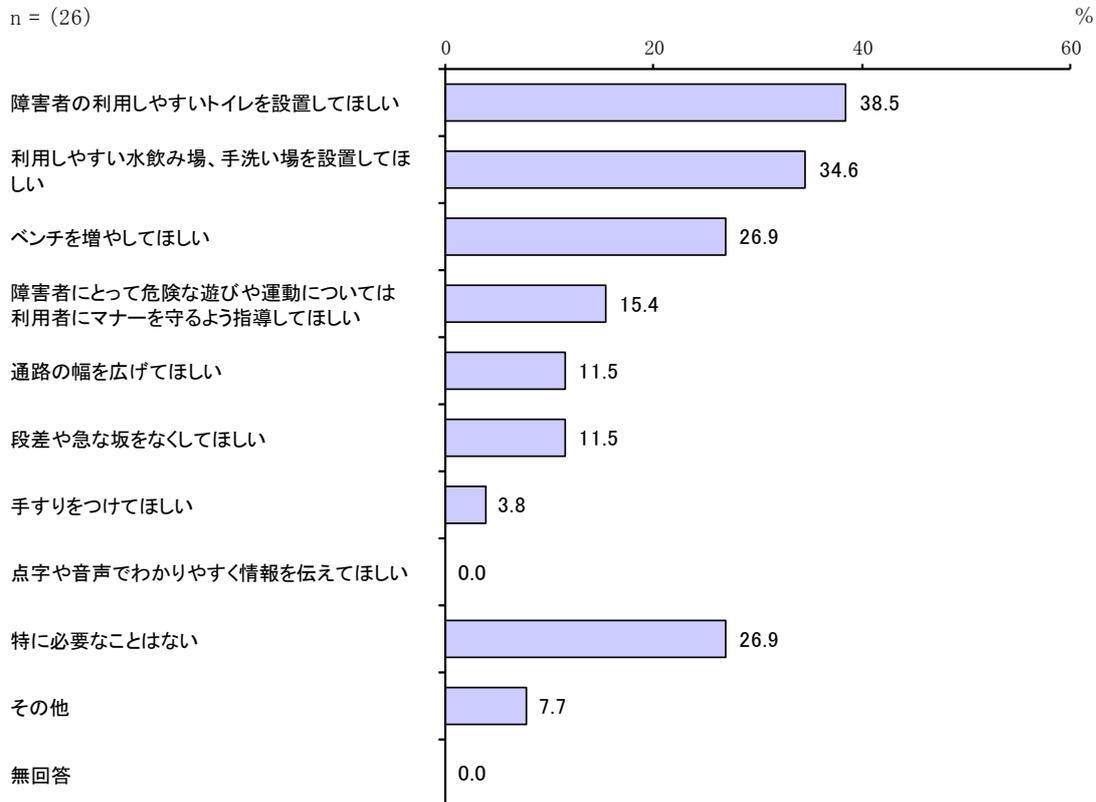
**問 29 【問 28 で「よく利用する」または「時々利用する」に○をつけた方におたずねします。】
あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)**

「散歩」の割合が 68.8%と最も高く、次いで「遊び場」の割合が 56.3%、「運動」の割合が 50.0%となっています。



問 30 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

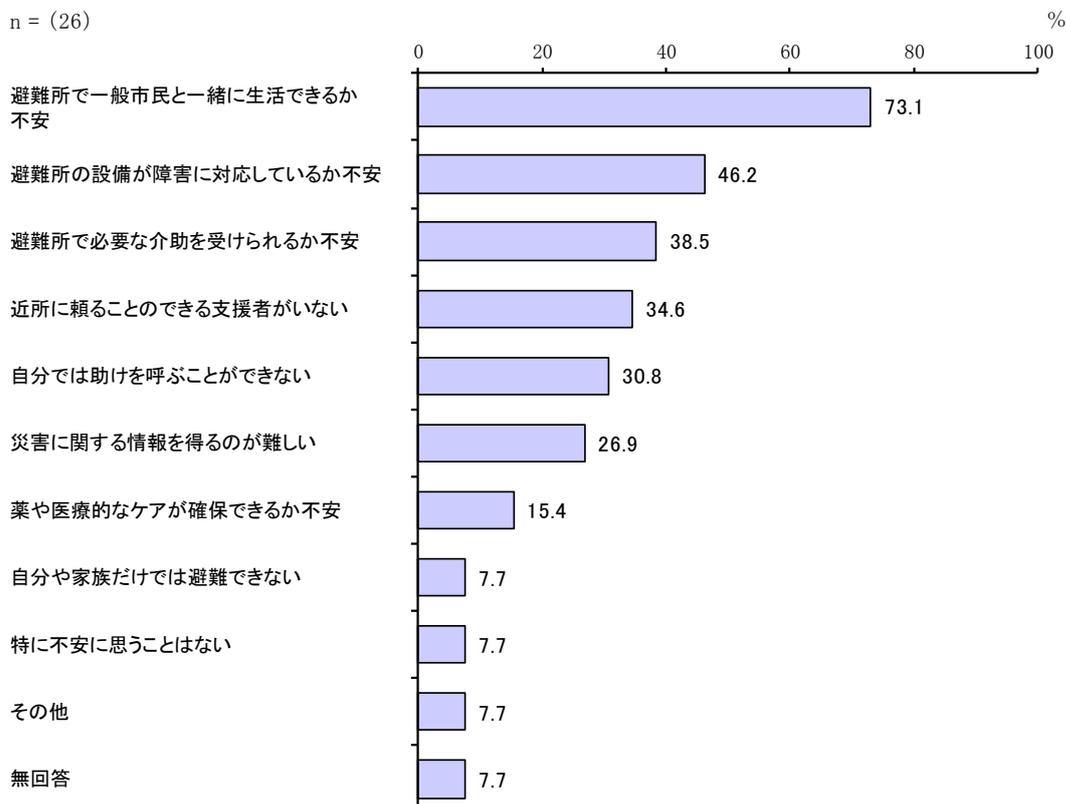
「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい」の割合が 34.6%、「ベンチを増やしてほしい」、「特に必要なことはない」の割合が 26.9%となっています。



(7) 災害対策について

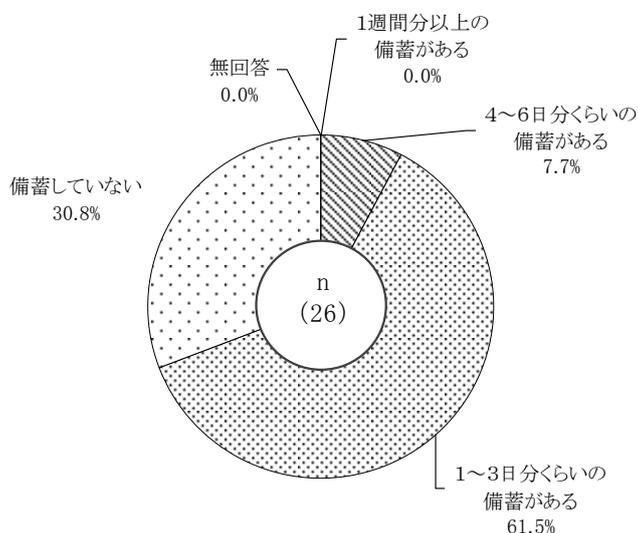
問 31 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。（○はいくつでも）

「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」の割合が73.1%と最も高く、次いで「避難所の設備が障害に対応しているか不安」の割合が46.2%、「避難所で必要な介助を受けられるか不安」の割合が38.5%となっています。



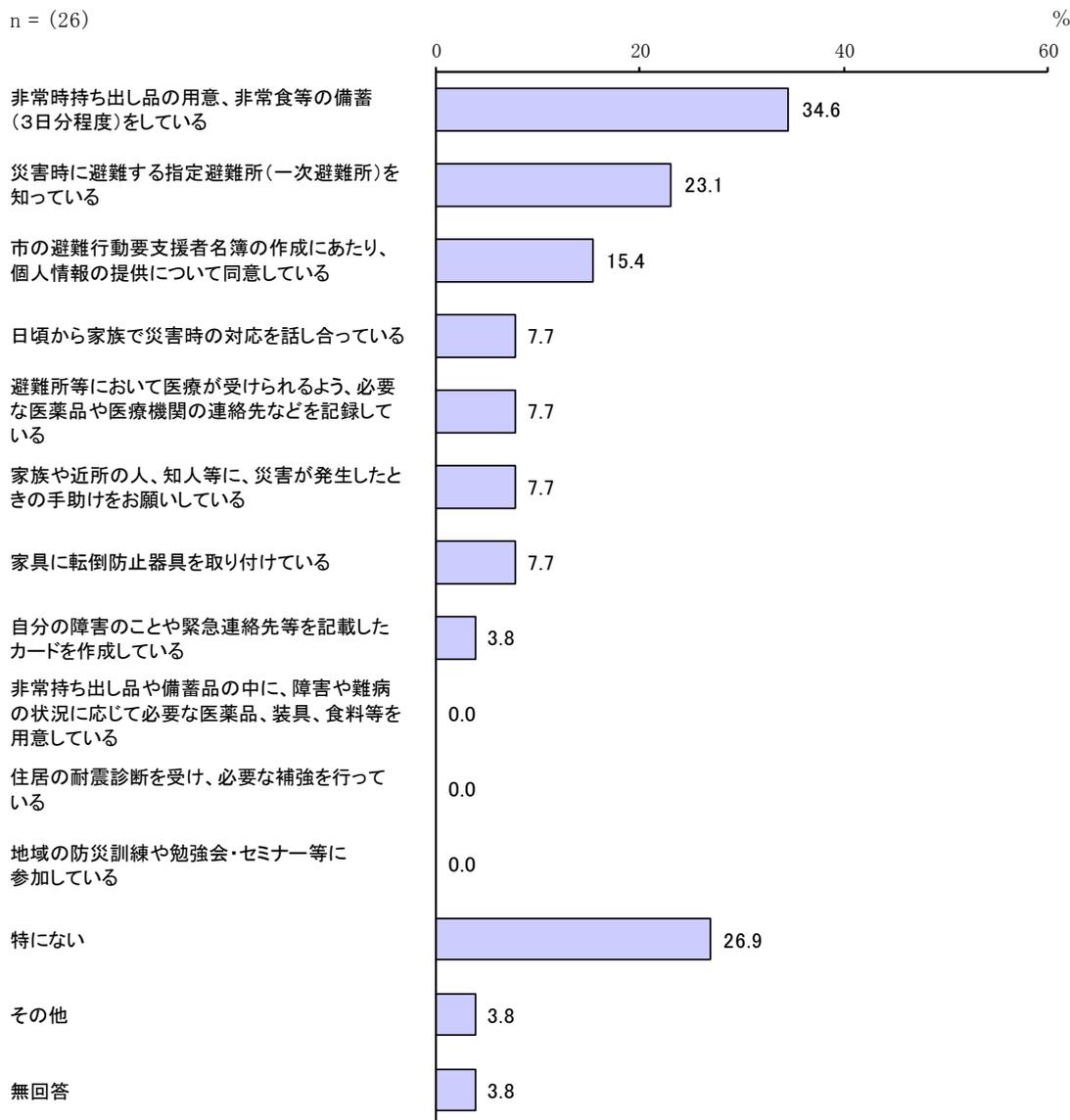
問 32 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

「1～3日分くらいの備蓄がある」の割合が61.5%と最も高く、次いで「備蓄していない」の割合が30.8%となっています。



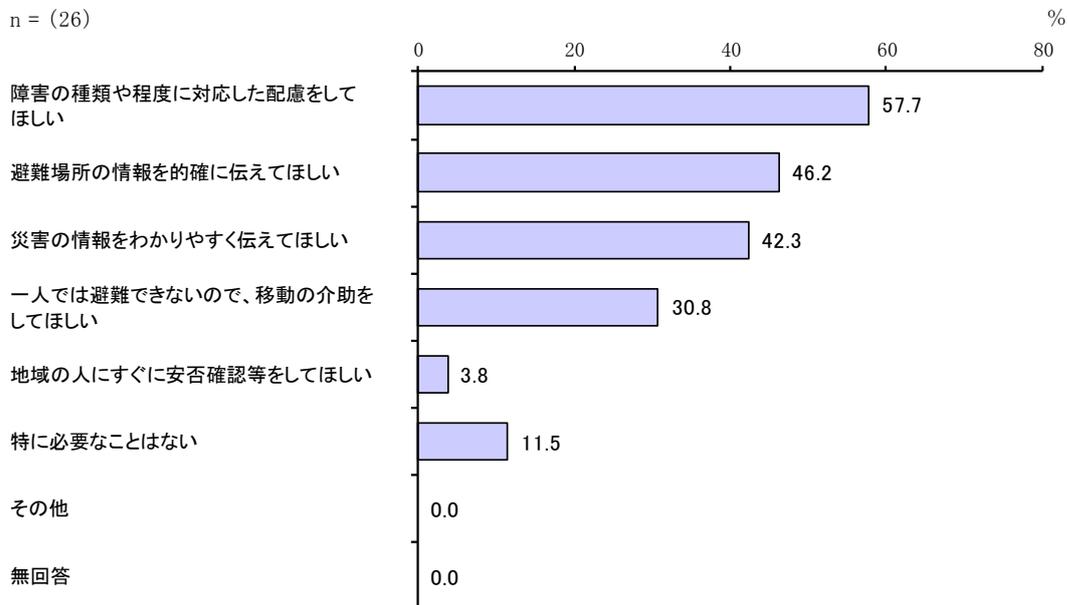
問 33 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている」の割合が34.6%と最も高く、次いで「特にない」の割合が26.9%、「災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている」の割合が23.1%となっています。



問 34 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。
(〇はいくつでも)

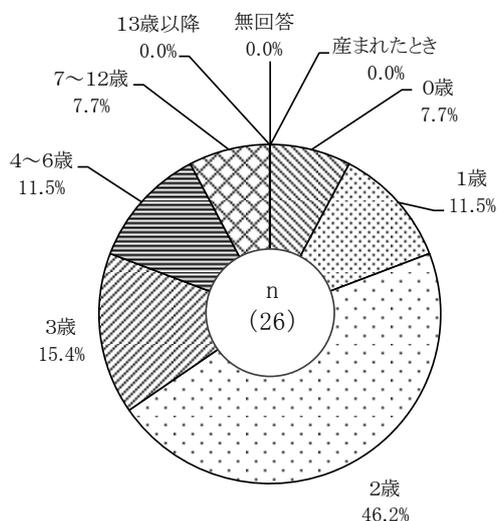
「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」の割合が 46.2%、「災害の情報をわかりやすく伝えてほしい」の割合が 42.3%となっています。



(8) 療育・保育について

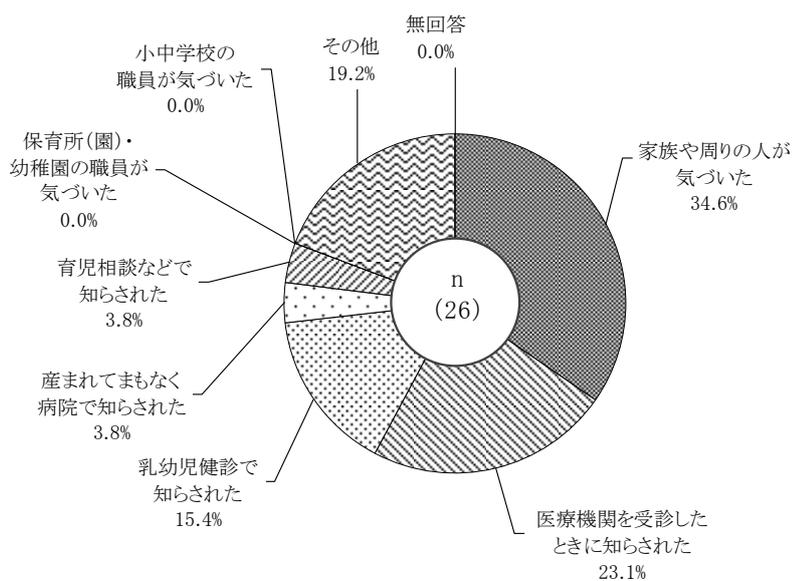
問 35 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。
(○は1つ)

「2歳」の割合が46.2%と最も高く、次いで「3歳」の割合が15.4%、「1歳」、「4～6歳」の割合が11.5%となっています。



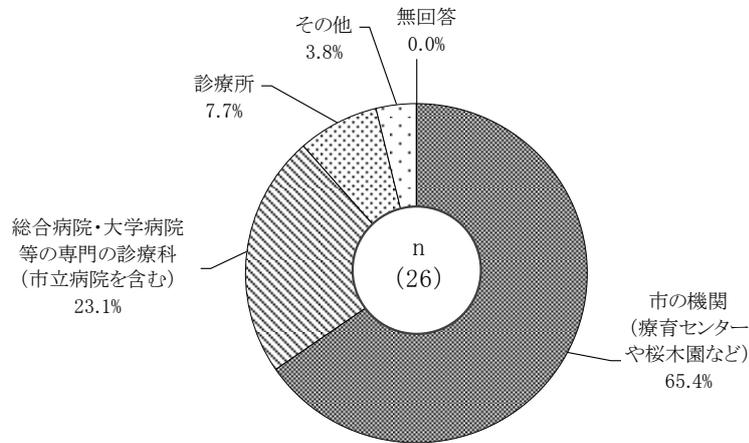
問 36 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(○は1つ)

「家族や周りの人が気づいた」の割合が34.6%と最も高く、次いで「医療機関を受診したときに知らされた」の割合が23.1%、「乳幼児健診で知らされた」の割合が15.4%となっています。



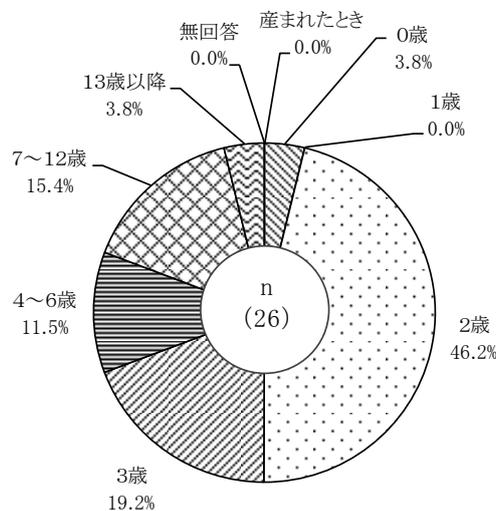
問 37 あなた（もしくはあて名のお子さん）が、障害の診断を受けた機関はどこですか。（○は1つ）

「市の機関（療育センターや桜木園など）」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「総合病院・大学病院等の専門の診療科（市立病院を含む）」の割合が 23.1%となっています。



問 38 あなた（もしくはあて名のお子さん）が、診断・判定を受けたのは何歳の時ですか。

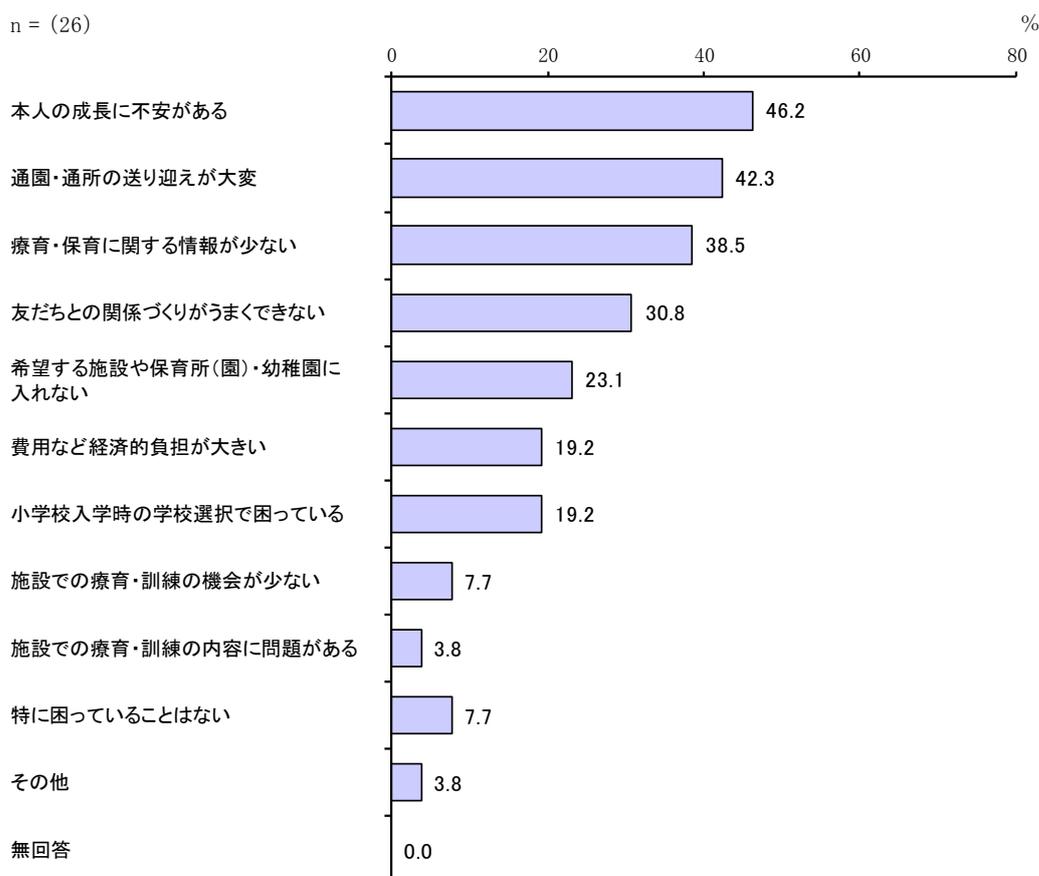
「2歳」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「3歳」の割合が 19.2%、「7～12歳」の割合が 15.4%となっています。



問 39 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている（または以前に困ったことがある）ことはありますか。（〇はいくつでも）

「本人の成長に不安がある」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「通園・通所の送り迎えが大変」の割合が 42.3%、「療育・保育に関する情報が少ない」の割合が 38.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「通園・通所の送り迎えが大変」、「希望する施設や保育所（園）・幼稚園に入れたい」の割合が増加し、「療育・保育に関する情報が少ない」、「友だちとの関係づくりがうまくできない」、「費用など経済的負担が大きい」、「小学校入学時の学校選択で困っている」、「施設での療育・訓練の機会が少ない」、「施設での療育・訓練の内容に問題がある」の割合が減少しています。



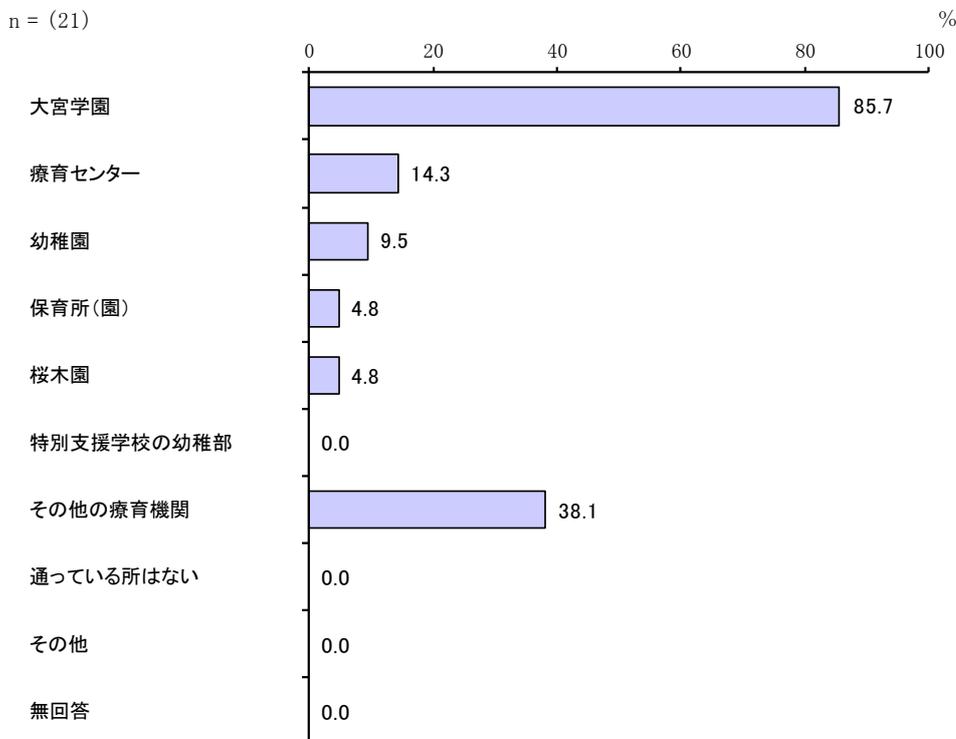
【平成 28 年度調査】

単位：%

	調査数	本人の成長に不安がある	通園・通所の送り迎えが大変	療育・保育に関する情報が少ない	友だちとの関係づくりがうまくできない	希望する施設や保育所（園）・幼稚園に入れたい	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	特に困っていることはない	その他
全体	120	50.0	35.3	44.1	70.6	14.7	35.3	26.5	47.1	8.8	2.9	14.7

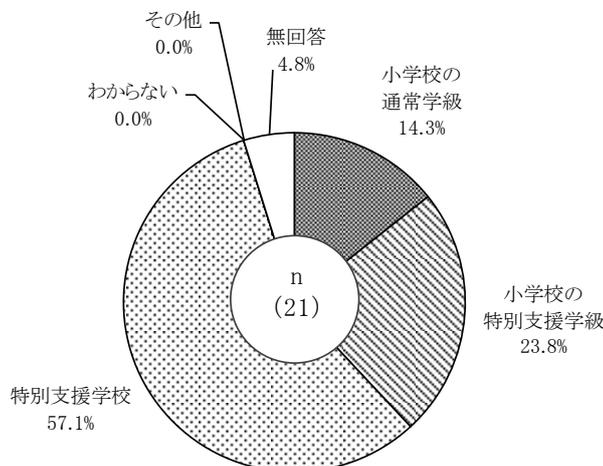
問 40 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】
あなたが現在通っているところがありますか。（○はいくつでも）

「大宮学園」の割合が 85.7%と最も高く、次いで「その他の療育機関」の割合が 38.1%、「療育センター」の割合が 14.3%となっています。



問 41 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】
あなたが小学校（小学部）に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（○は1つ）

「特別支援学校」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「小学校の特別支援学級」の割合が 23.8%、「小学校の通常学級」の割合が 14.3%となっています。

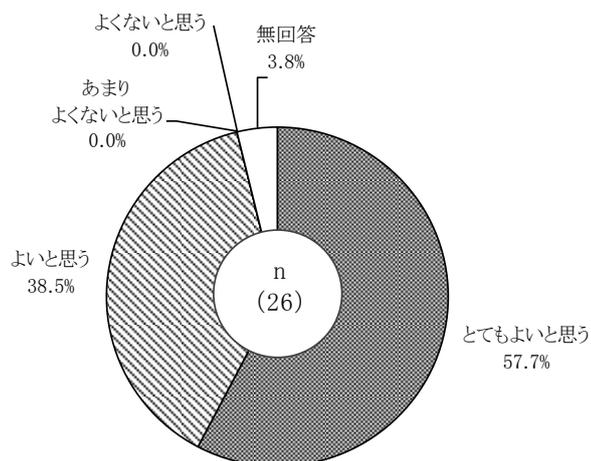


問 42 【保護者の方におたずねします。】

療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が小学校に提供されることについてどう思いますか。

(○は1つ)

「とてもよいと思う」と「よいと思う」をあわせた“よいと思う”の割合が 96.2%、「あまりよくないと思う」と「よくないと思う」をあわせた“よくないと思う”の割合が 0.0%となっています。

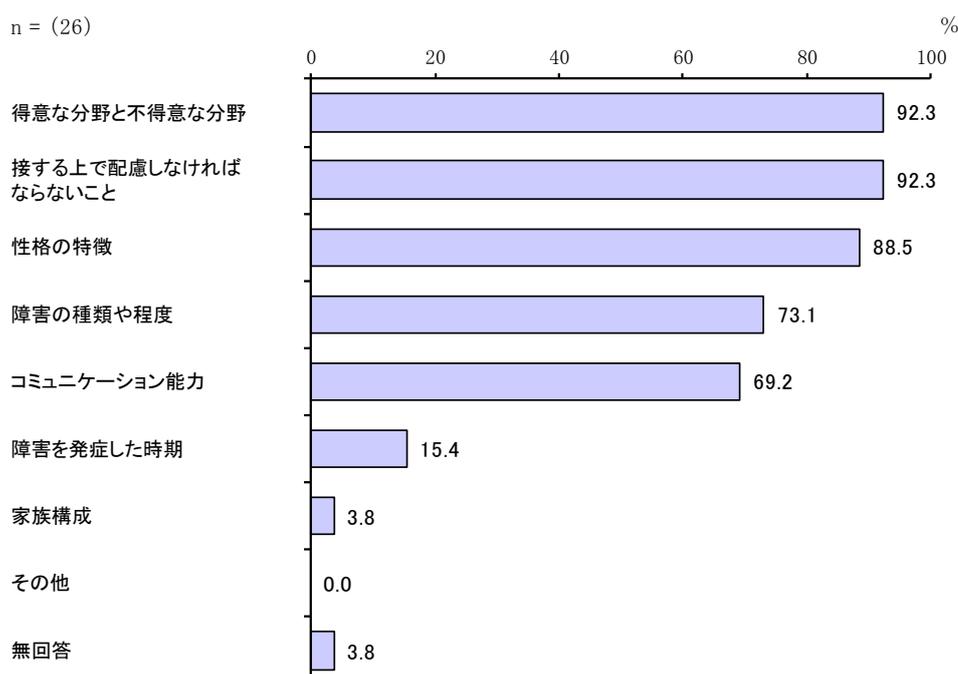


問 43 【保護者の方におたずねします。】

療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が小学校に提供されるとよいと思いますか。

(○はいくつでも)

「得意な分野と不得意な分野」、「接する上で配慮しなければならないこと」の割合が 92.3%と最も高く、次いで「性格の特徴」の割合が 88.5%となっています。



(9) 学校・教育について

問 44 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。(○は1つ)

「高等学校」が3件、「通所施設などに通っている」が1件となっています。

問 45 あなた(や保護者・ご家族の方)は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。(○はいくつでも)

「学校卒業後の進路に不安がある」が4件、「通学の送迎が大変」が3件、「教育・療育に関する情報が少ない」、「教職員の指導・支援の仕方が心配」が2件となっています。

問 46 あなた(や保護者・ご家族の方)は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。(○はいくつでも)

「自宅で過ごしたい」が4件、「部活動などに参加したい」が2件、「地域の友だちと遊びたい」、「放課後等デイサービスを利用したい」が1件となっています。

問 47 【保護者の方におたずねします。】

小学校(初等部)から中学校(中等部)に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が中学校(中等部)に提供されることについてどう思いますか。(○は1つ)

「とてもよいと思う」が5件となっています。

問 48 【保護者の方におたずねします。】

小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が中学校に提供されるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

「障害の種類や程度」、「性格の特徴」、「得意な分野と不得意な分野」が5件となっています。

問 49 あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。(○は1つ)

「高等学校」が5件となっています。

問 50 【保護者の方におたずねします。】

中学校（中学部）から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が高等学校（高等部）に提供されることについてどう思いますか。(○は1つ)

「とてもよいと思う」が5件となっています。

問 51 【保護者の方におたずねします。】

中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が高等学校（高等部）に提供されるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

「障害の種類や程度」、「性格の特徴」、「得意な分野と不得意な分野」、「接する上で配慮しなければならないこと」が5件となっています。

問 52 あなたは、高等学校（高等部）卒業後、どのような進路を希望していますか。
(○は1つ)

「わからない」が2件となっています。「企業等に就職したい」、「大学・短大に進学したい」、「障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい」が1件となっています。

(10) 日中活動・就労について

問 53 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。
(最もあてはまる番号1つだけ○)

有効回答がありませんでした。

問 54 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思えますか。(○はいくつでも)

有効回答がありませんでした。

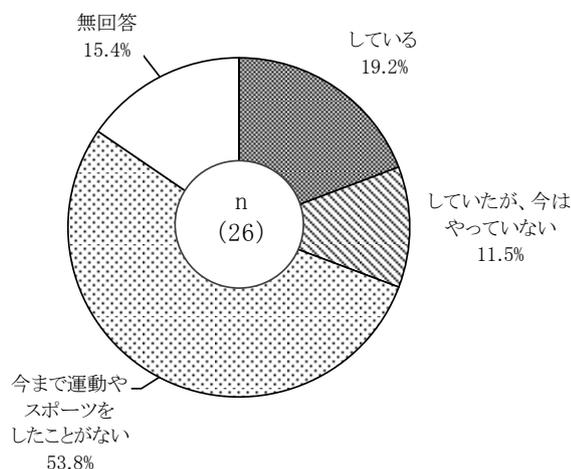
問 55 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思えますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(○はいくつでも)

有効回答がありませんでした。

(11) 運動やスポーツについて

問 56 あなたは、運動やスポーツをしていますか。
(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

「今まで運動やスポーツをしたことがない」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「している」の割合が 19.2%、「していたが、今はやっていない」の割合が 11.5%となっています。



問 57 【問 56 で「している」に○をつけた方におたずねします。】
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

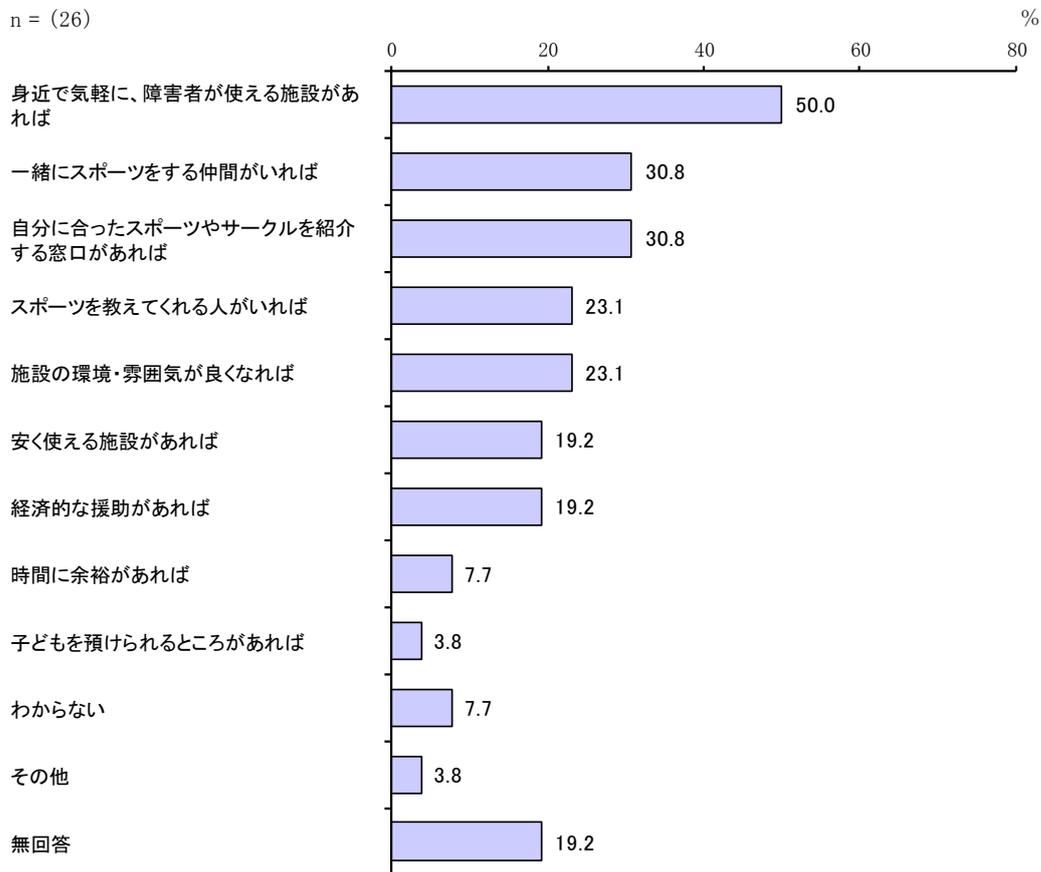
「週に3回以上」が3件となっています。「週に1～2回」、「月に1～3回」が1件となっています。

問 58 【問 56 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします。】
あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「水泳」が4件となっています。「ウォーキング」が3件、「ダンス」が2件となっています。

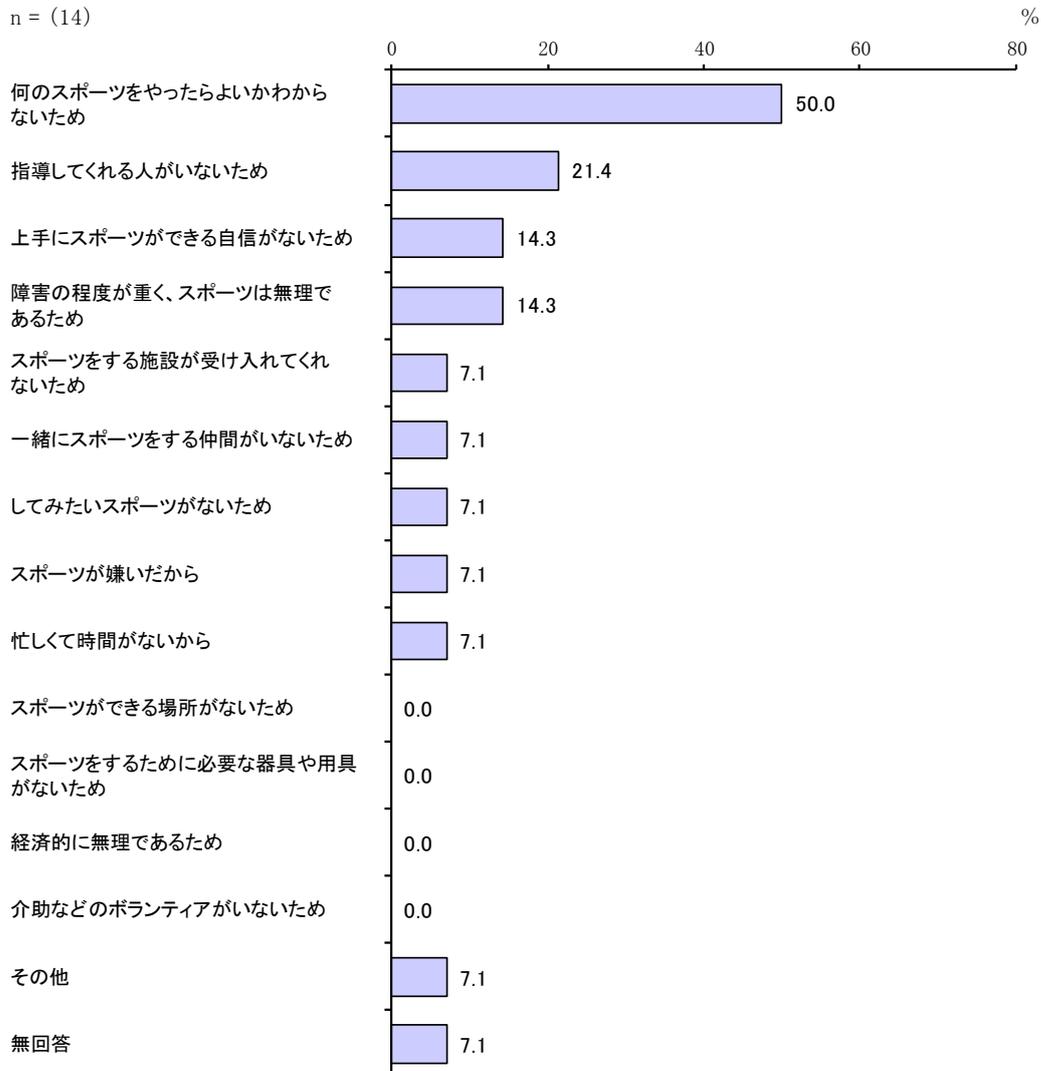
問 59 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「一緒にスポーツをする仲間がいれば」、「自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば」の割合が 30.8%となっています。



問 60 【問 56 で「今まで運動やスポーツをしたことがない」に○をつけた方におたずねします。】
 あなたがスポーツをしない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

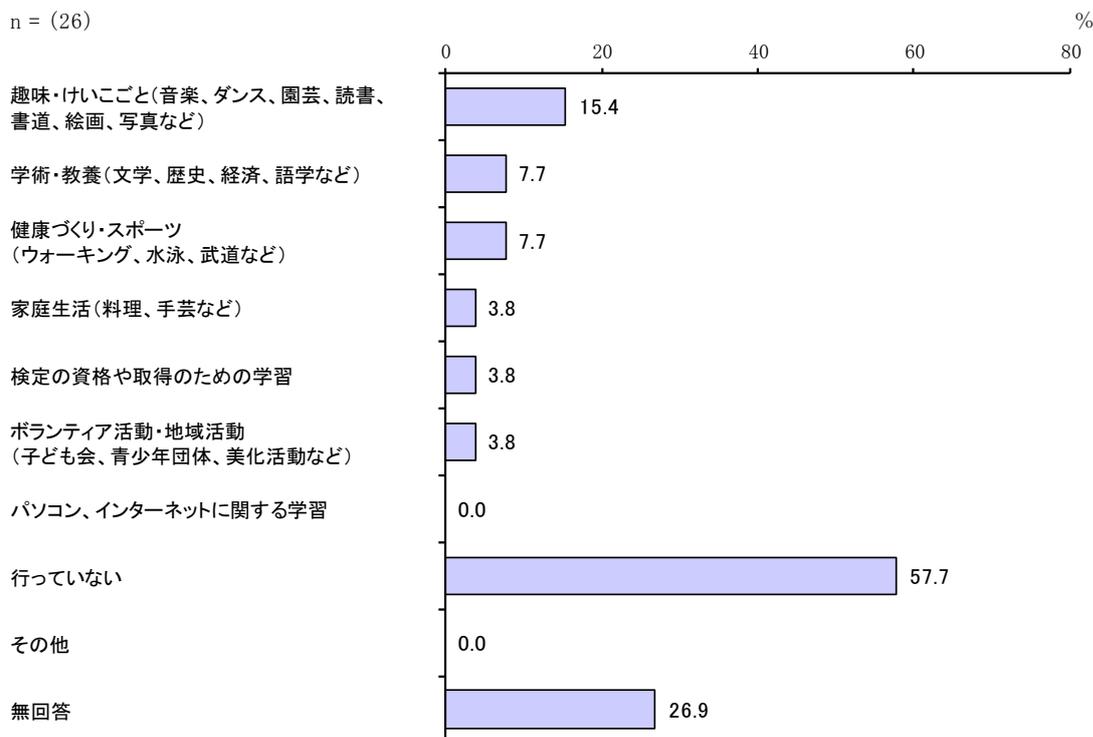
「何のスポーツをやったらよいかわからないため」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「指導してくれる人がいないため」の割合が 21.4%、「上手にスポーツができる自信がないため」、「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」の割合が 14.3%となっています。



(12) 趣味や教養などの生涯学習活動について

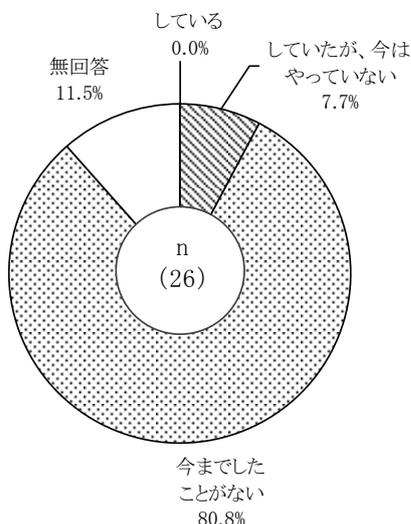
問 61 次の選択肢は、趣味や教養などの、生涯学習に関する活動といえるものです。あなたがやっている(行っていた)活動は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「行っていない」の割合が57.7%と最も高く、次いで「趣味・けいこごと(音楽、ダンス、園芸、読書、書道、絵画、写真など)」の割合が15.4%となっています。



問 62 あなたは、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講したことがありますか。
(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

「今までしたことがない」の割合が80.8%と最も高くなっています。

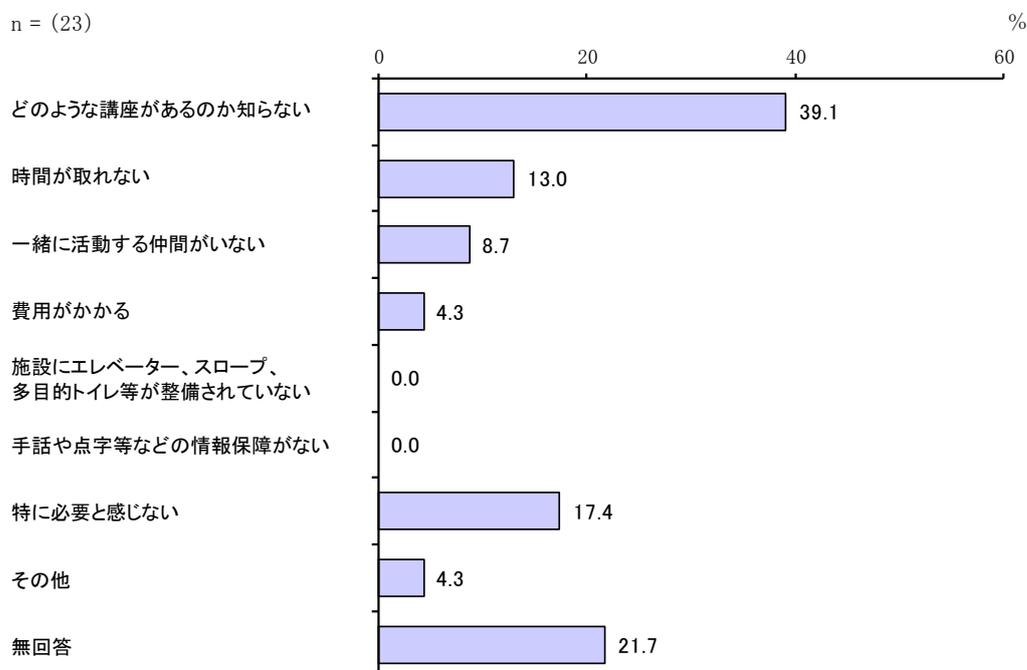


問 63 【問 62 で「している」と回答した方におたずねします。
あなたは、どのくらいの頻度で生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講をしていますか。

有効回答がありませんでした。

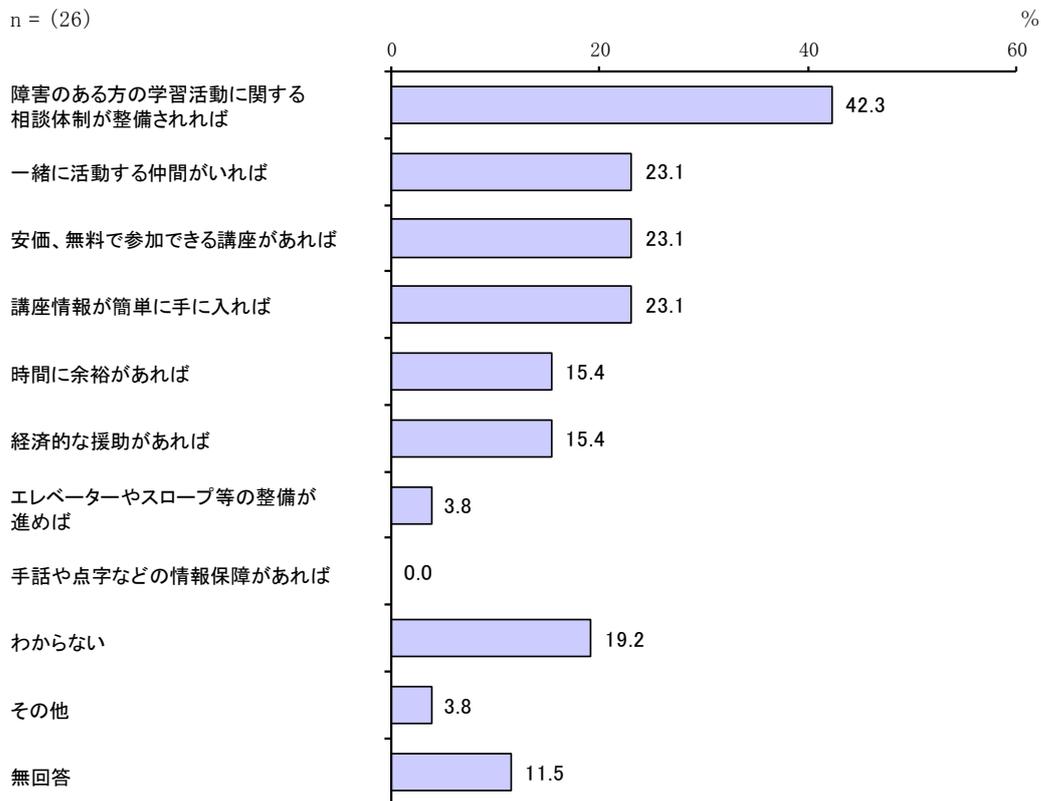
問 64 【問 62 で「2. していたが今はやっていない」または「3. 今までしたことがない」と回答した方におたずねします。
あなたが趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講しない理由は何ですか。

「どのような講座があるのか知らない」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「特に必要と感
じない」の割合が 17.4%、「時間が取れない」の割合が 13.0%となっています。



問 65 今後、障害のある方が、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

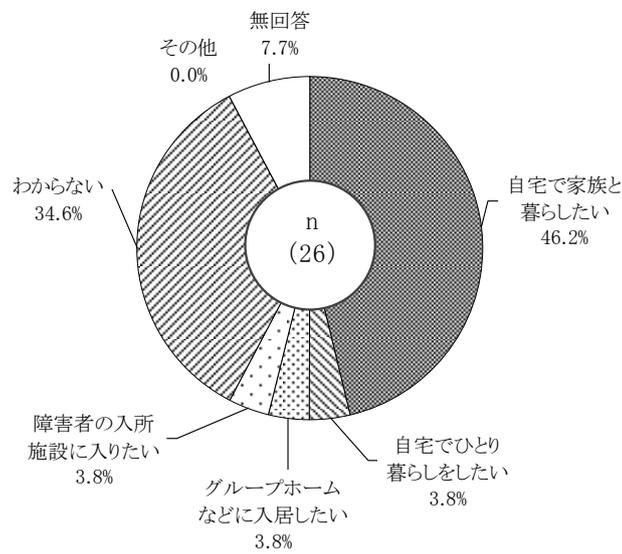
「障害のある方の学習活動に関する相談体制が整備されれば」の割合が42.3%と最も高く、次いで「一緒に活動する仲間がいれば」、「安価、無料で参加できる講座があれば」、「講座情報が簡単に手に入れば」の割合が23.1%となっています。



(13) 将来について

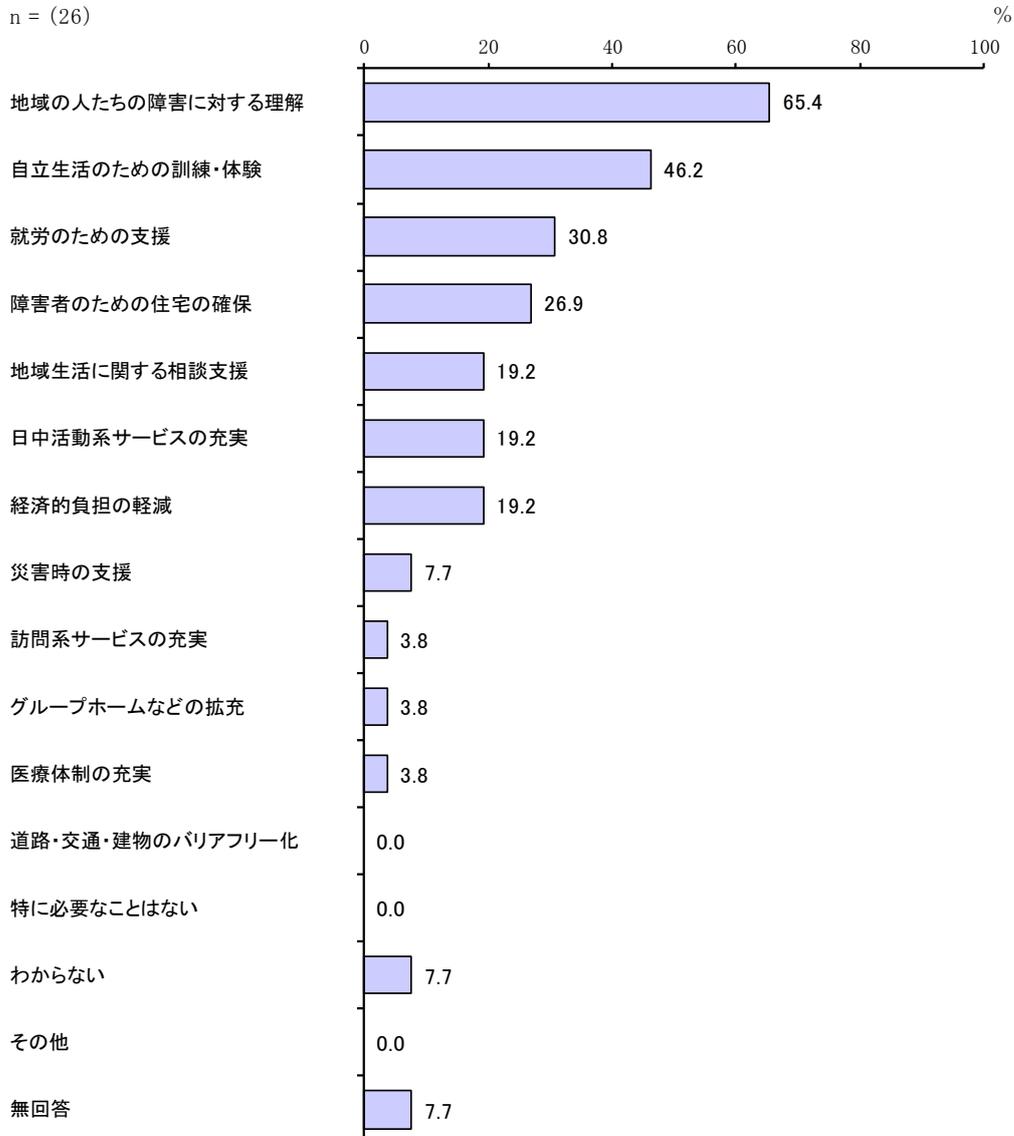
問 66 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

「自宅で家族と暮らしたい」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 34.6%となっています。



問 67 あなた（や保護者・ご家族の方）は、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

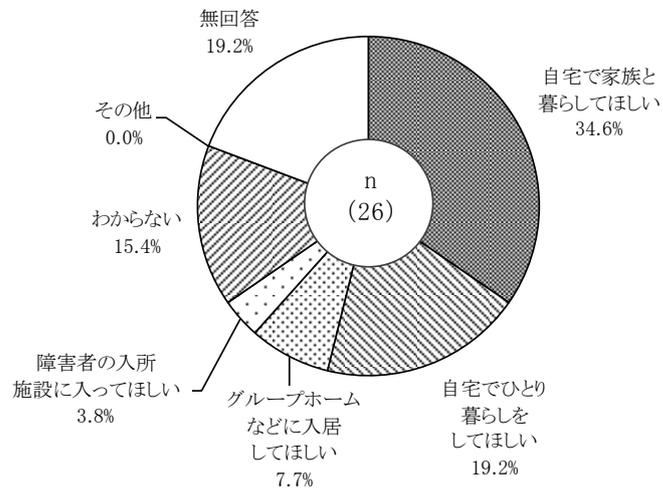
「地域の人たちの障害に対する理解」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「自立生活のための訓練・体験」の割合が 46.2%、「就労のための支援」の割合が 30.8%となっています。



問 68 【主な介助者の方におたずねします。】

今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。(○は1つ)

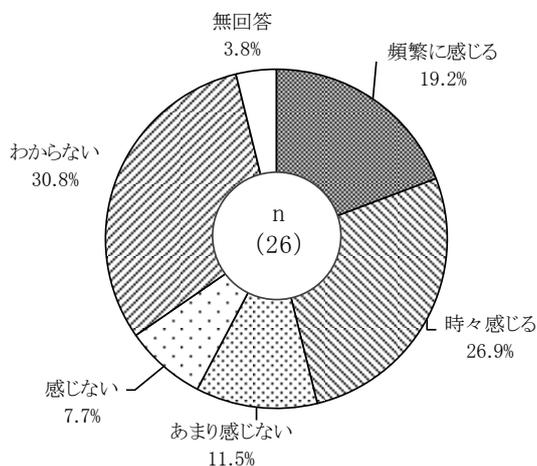
「自宅で家族と暮らしてほしい」の割合が34.6%と最も高く、次いで「自宅でひとり暮らしをほしい」の割合が19.2%、「わからない」の割合が15.4%となっています。



(14) 障害のある人に対する理解度

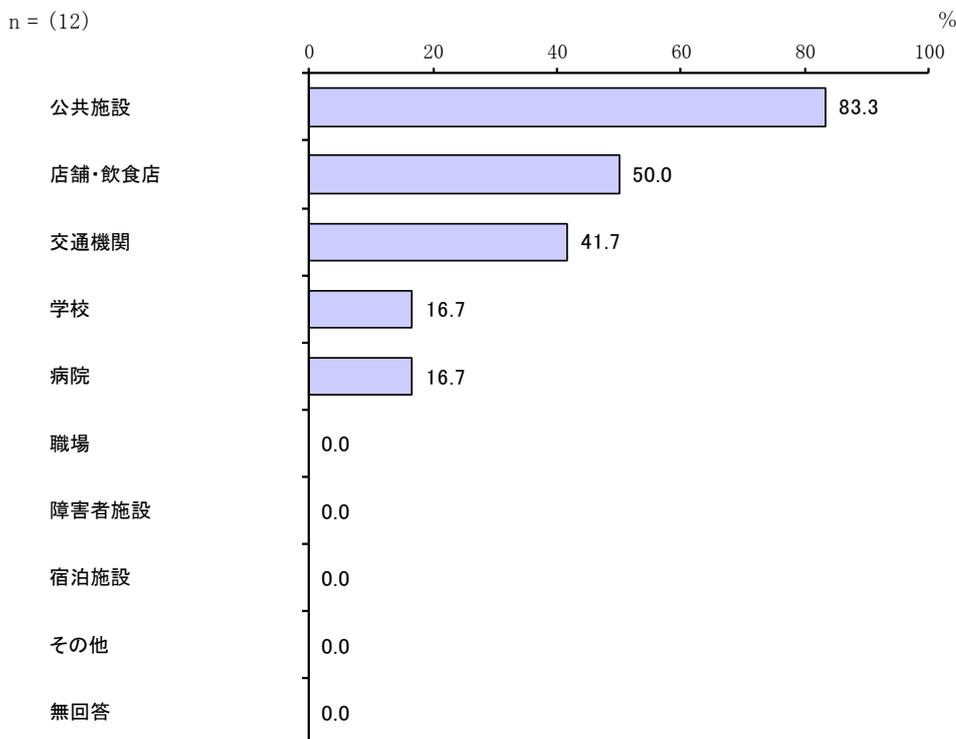
問 69 あなたは、普段の生活のなかで、差別を感じることはありませんか。(○は1つ)

「頻繁に感じる」と「時々感じる」をあわせた“感じる”の割合が46.1%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が19.2%となっています。



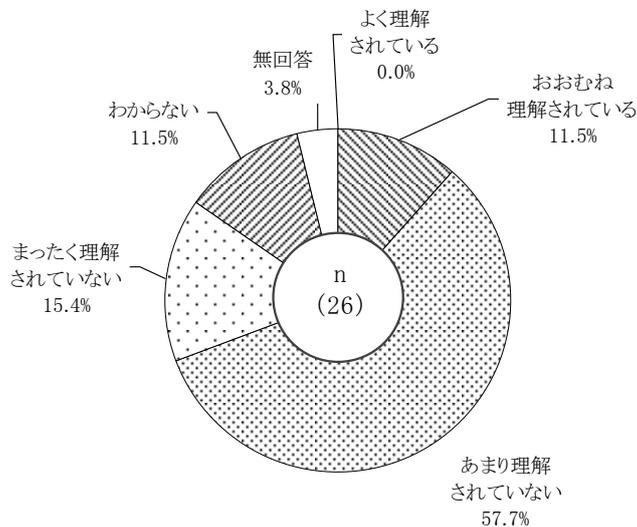
問 70 差別を感じた経験のある方におたずねします。それはどのような場所でありましたか。(○はいくつでも)

「公共施設」の割合が83.3%と最も高く、次いで「店舗・飲食店」の割合が50.0%、「交通機関」の割合が41.7%となっています。



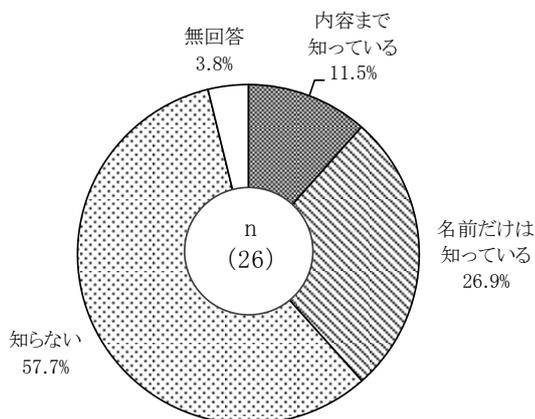
問 71 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

「よく理解されている」と「おおむね理解されている」をあわせた“理解されている”の割合が 11.5%、「あまり理解されていない」と「まったく理解されていない」をあわせた“理解されていない”の割合が 73.1%となっています。



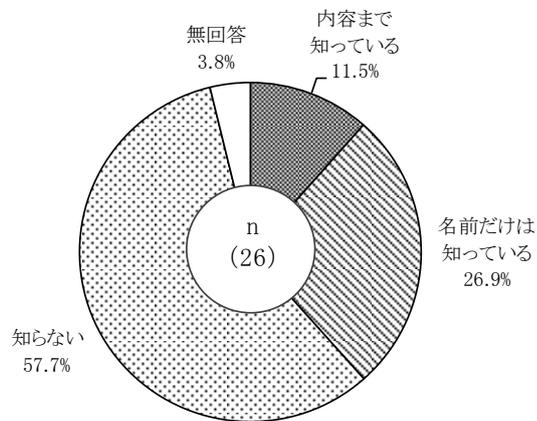
問 72 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は1つ)

「知らない」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 26.9%、「内容まで知っている」の割合が 11.5%となっています。



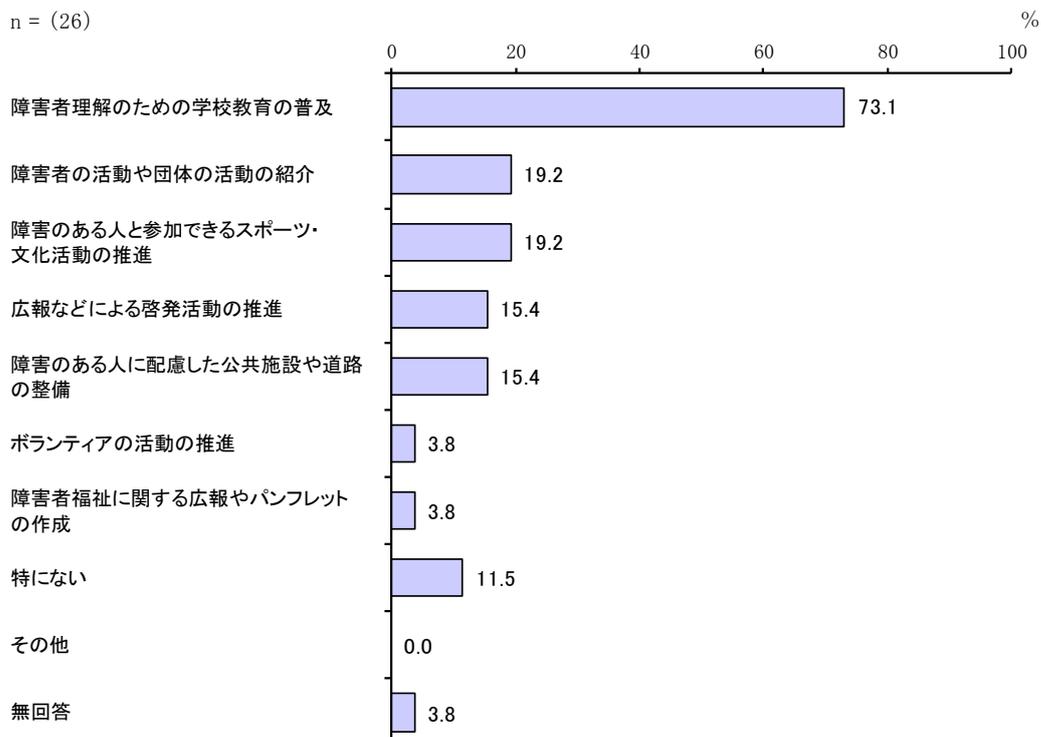
問 73 障害者への虐待を発見した場合や障害者が虐待を受けた場合に、市へ通報や届出をする「障害者虐待防止法」が平成 24 年 10 月 1 日に施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は1つ)

「知らない」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 26.9%、「内容まで知っている」の割合が 11.5%となっています。



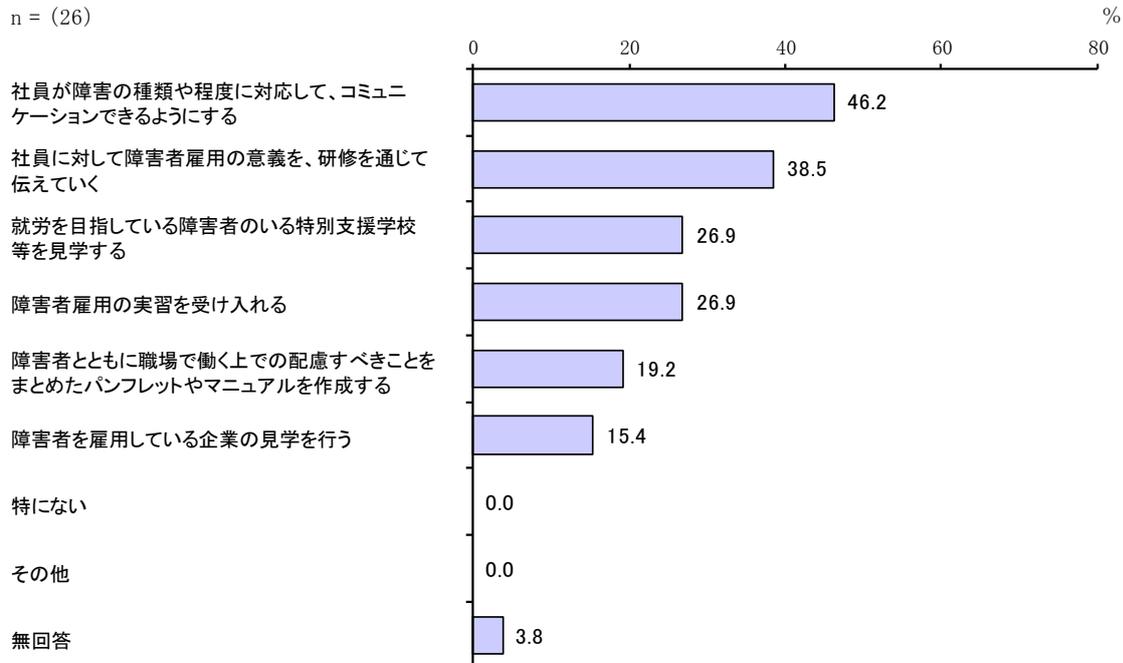
問 74 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(○は2つまで)

「障害者理解のための学校教育の普及」の割合が 73.1%と最も高く、次いで「障害者の活動や団体の活動の紹介」、「障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進」の割合が 19.2%となっています。



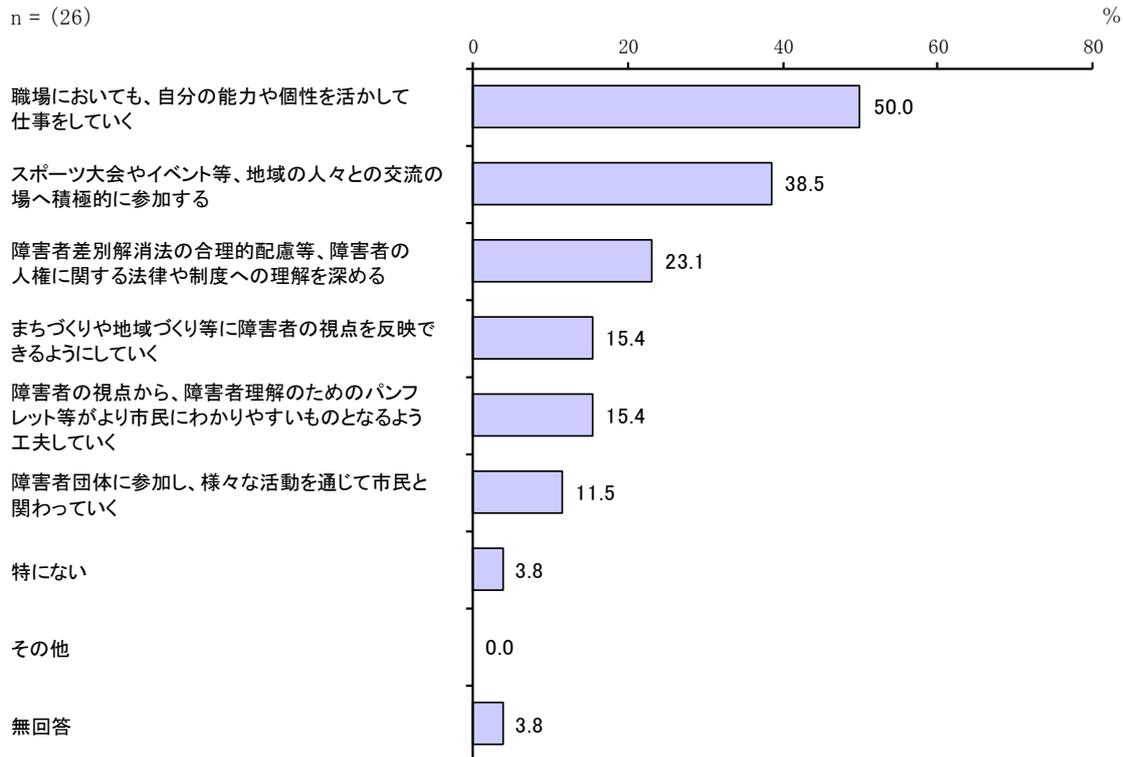
問 75 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」の割合が46.2%と最も高く、次いで「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」の割合が38.5%、「就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する」、「障害者雇用の実習を受け入れる」の割合が26.9%となっています。



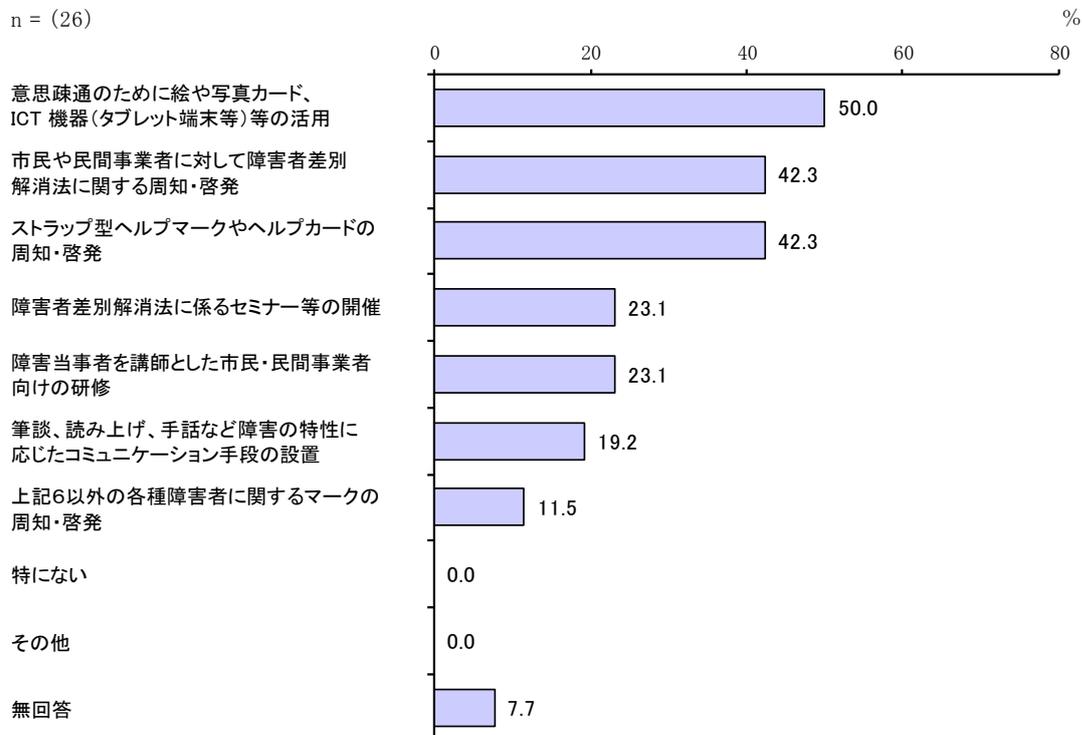
問 76 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)

「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する」の割合が 38.5%、「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」の割合が 23.1%となっています。



問 77 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われるか。(〇は3つまで)

「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用」の割合が50.0%と最も高く、次いで「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」、「ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発」の割合が42.3%となっています。

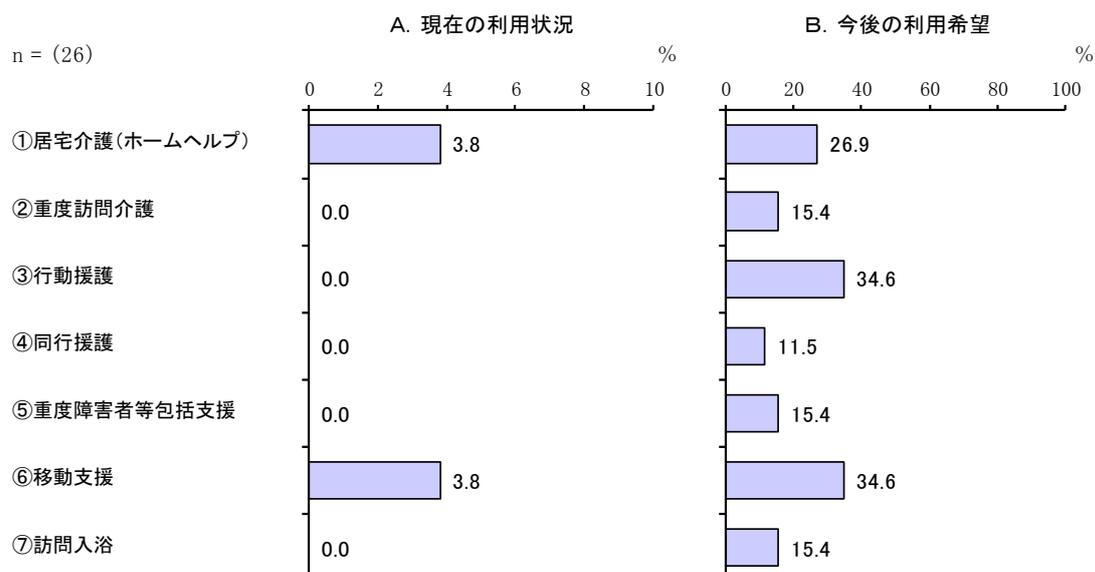


(15) サービス利用について

問 78 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いませんか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「①居宅介護（ホームヘルプ）」、「⑥移動支援」の割合が 3.8%と最も高くなっています。

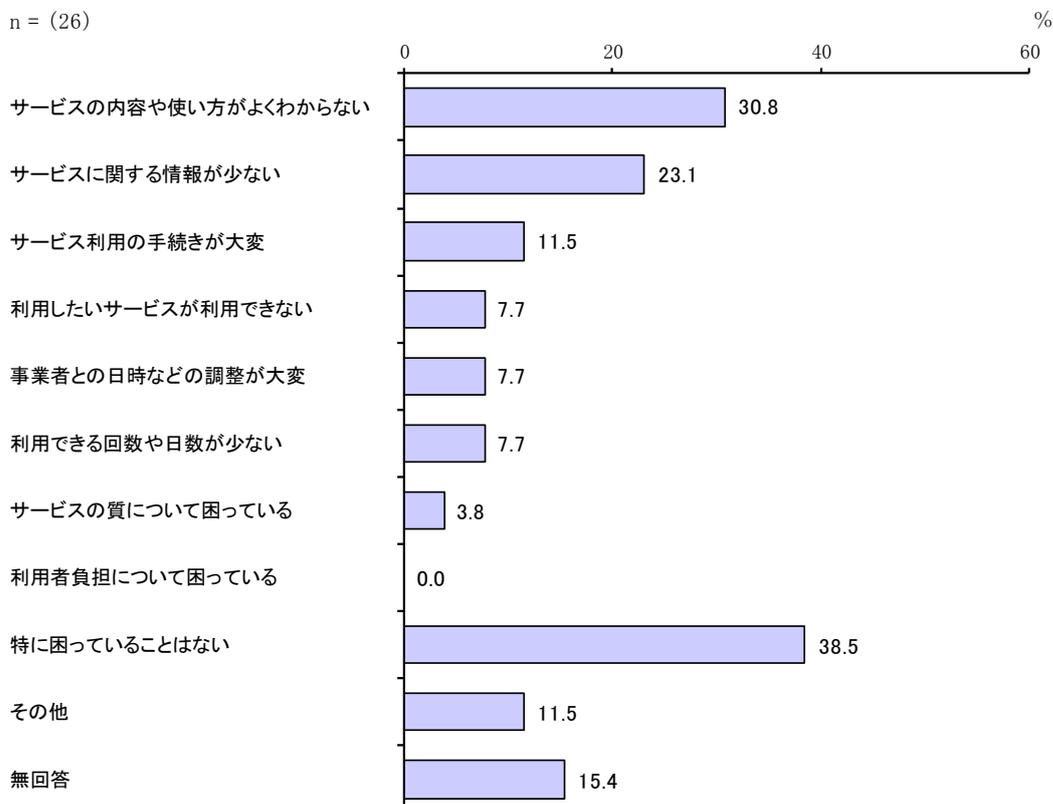
今後の利用希望については、「③行動援護」、「⑥移動支援」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「①居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が 26.9%となっています。



※令和元年度調査の「⑥移動支援」、「⑦訪問入浴」は平成 28 年度調査では、問 83 に含まれていた選択肢です。

問 79 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。
 (〇はいくつでも)

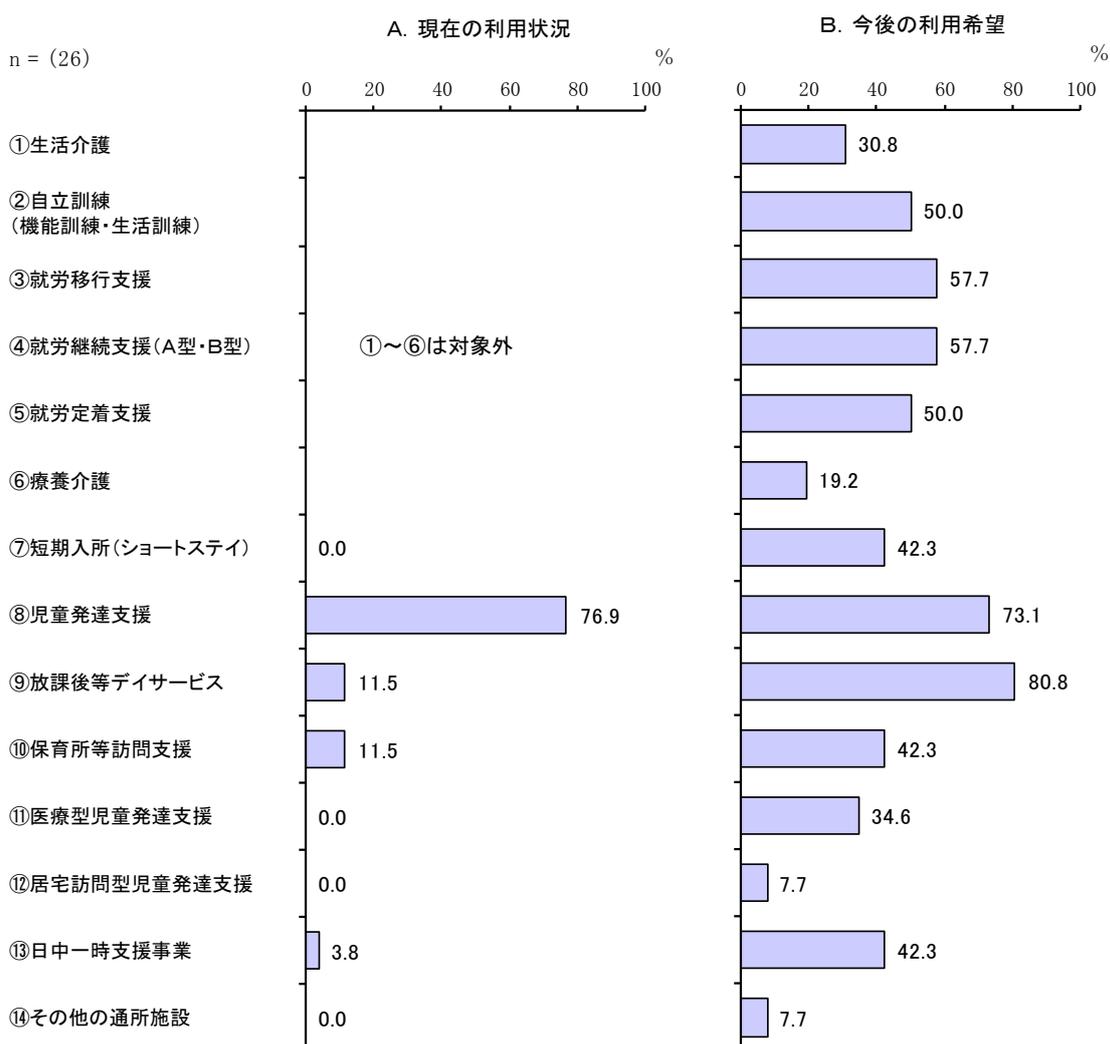
「特に困っていることはない」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「サービスの内容や使い方がよくわからない」の割合が 30.8%、「サービスに関する情報が少ない」の割合が 23.1%となっています。



問 80 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑭のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「⑧児童発達支援」の割合が76.9%と最も高く、次いで「⑨放課後等デイサービス」、「⑩保育所等訪問支援」の割合が11.5%となっています。

今後の利用希望については、「⑨放課後等デイサービス」の割合が80.8%と最も高く、次いで「⑧児童発達支援」の割合が73.1%、「③就労移行支援」、「④就労継続支援（A型・B型）」の割合が57.7%となっています。

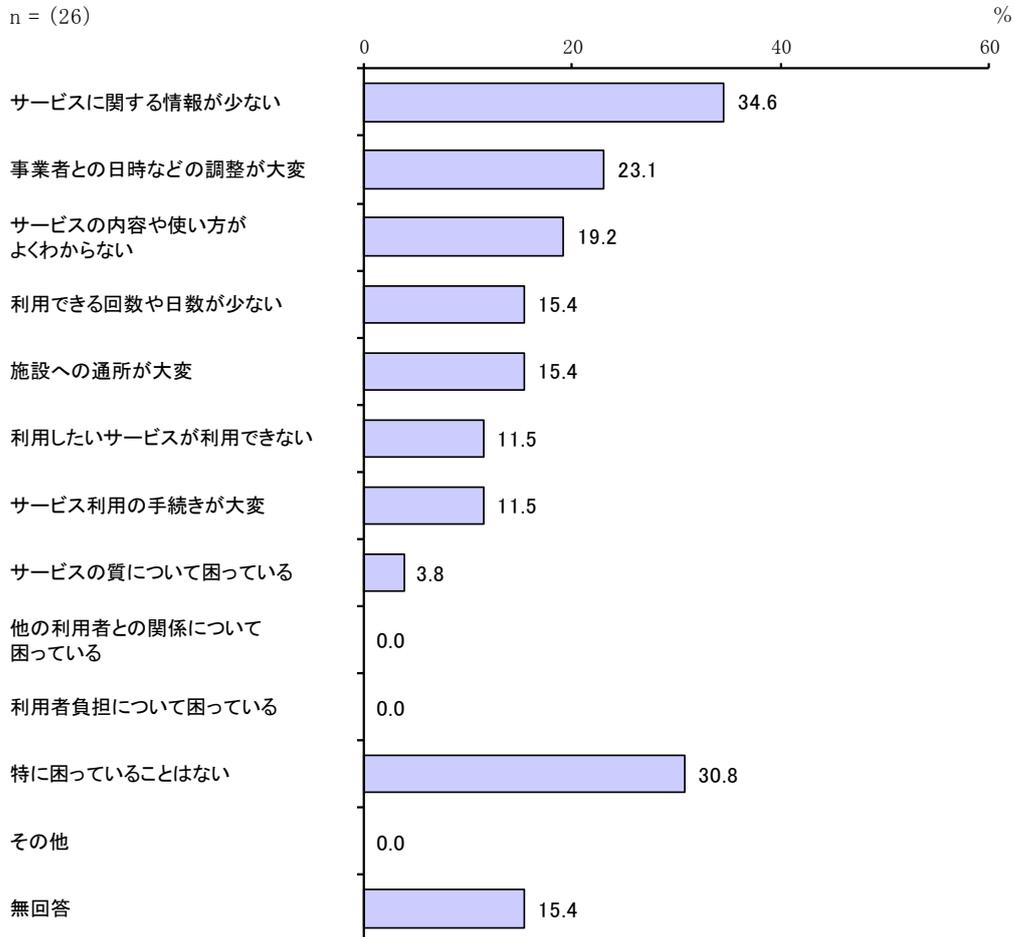


※令和元年度調査の「⑤就労定着支援」は新たに追加された選択肢です。

「⑧日中一時支援事業」は平成28年度調査では、問83に含まれていた選択肢です。

問 81 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。
(〇はいくつでも)

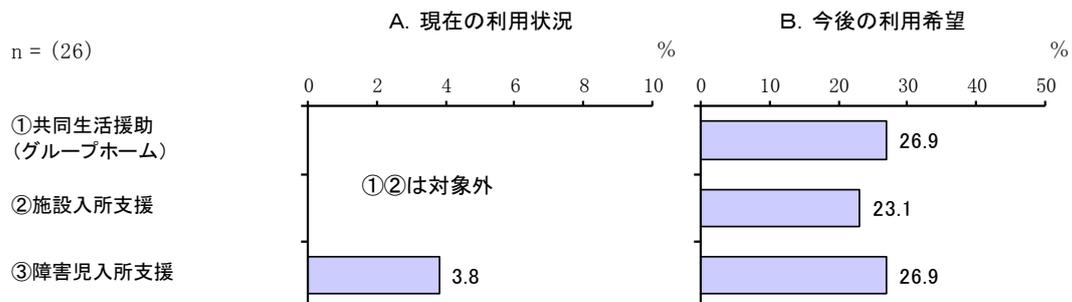
「サービスに関する情報が少ない」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が 30.8%、「事業者との日時などの調整が大変」の割合が 23.1%となっています。



問 82 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いませんか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「③障害児入所支援」の割合が3.8%と最も高くなっています。

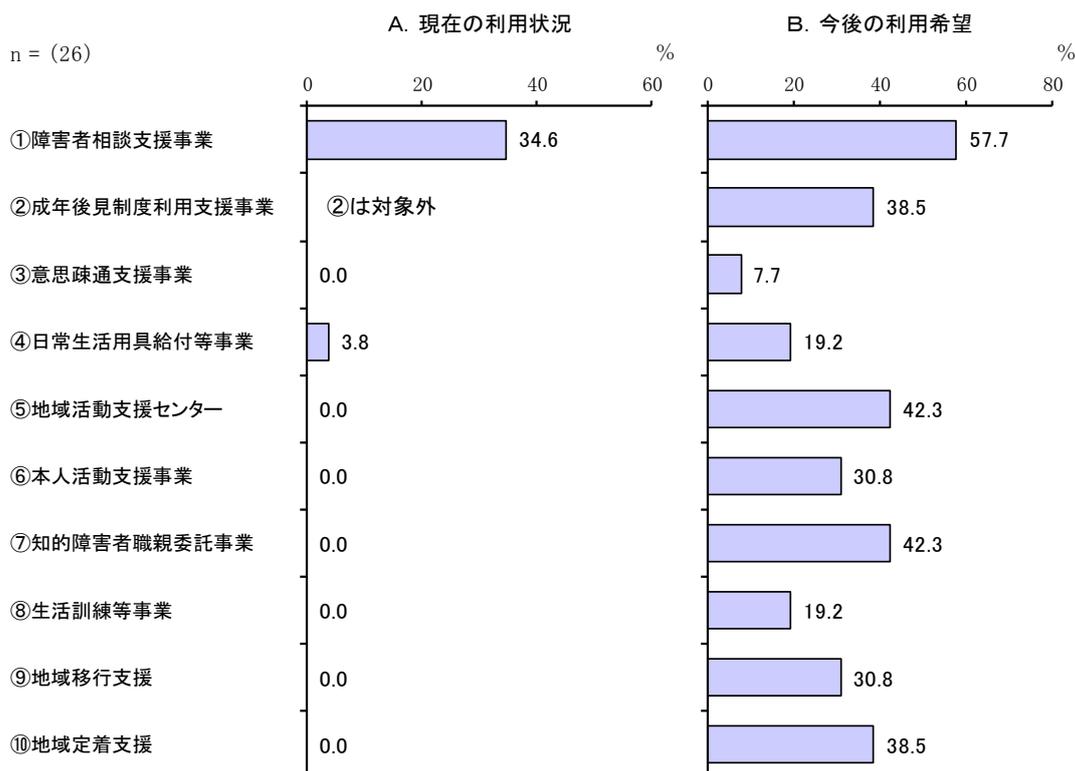
今後の利用希望については、「①共同生活援助（グループホーム）」、「③障害児入所支援」の割合が26.9%と最も高く、次いで「②施設入所支援」の割合が23.1%となっています。



問 83 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いませんか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。
 (①～⑩のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「①障害者相談支援事業」の割合が 34.6%と最も高くなっています。

今後の利用希望については、「①障害者相談支援事業」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「⑤地域活動支援センター」、「⑦知的障害者職親委託事業」の割合が 42.3%となっています。



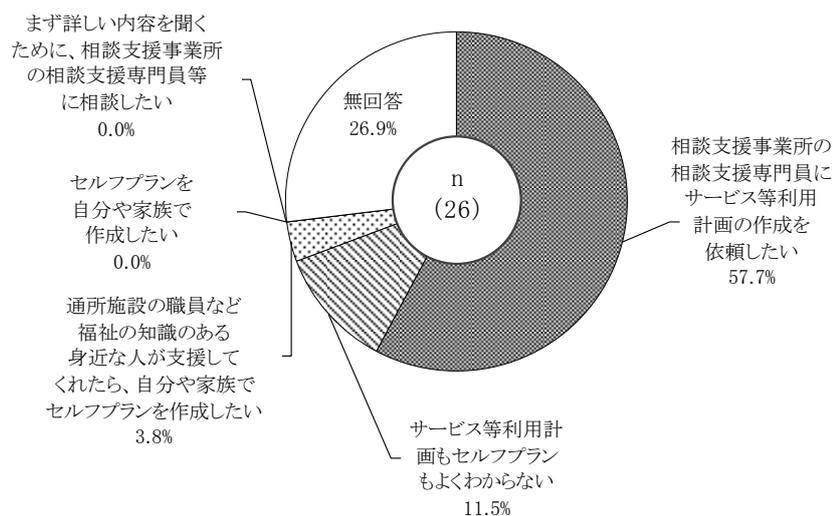
※令和元年度調査の「①障害者相談支援事業」は平成 28 年度調査では「①相談支援事業」でした。令和元年度調査の「⑨地域移行支援」、「⑩地域定着支援」は新たに追加された選択肢です。
 平成 28 年度調査の「⑤移動支援事業」、「⑧訪問入浴サービス事業」、「⑪日中一時支援事業」は令和元年度調査では、それぞれ、問 78 及び問 81 に選択肢を移しました。

問 84 【問 78, 80, 82, 83 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用を
したい方におたずねします。】

サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。

(○は1つ)

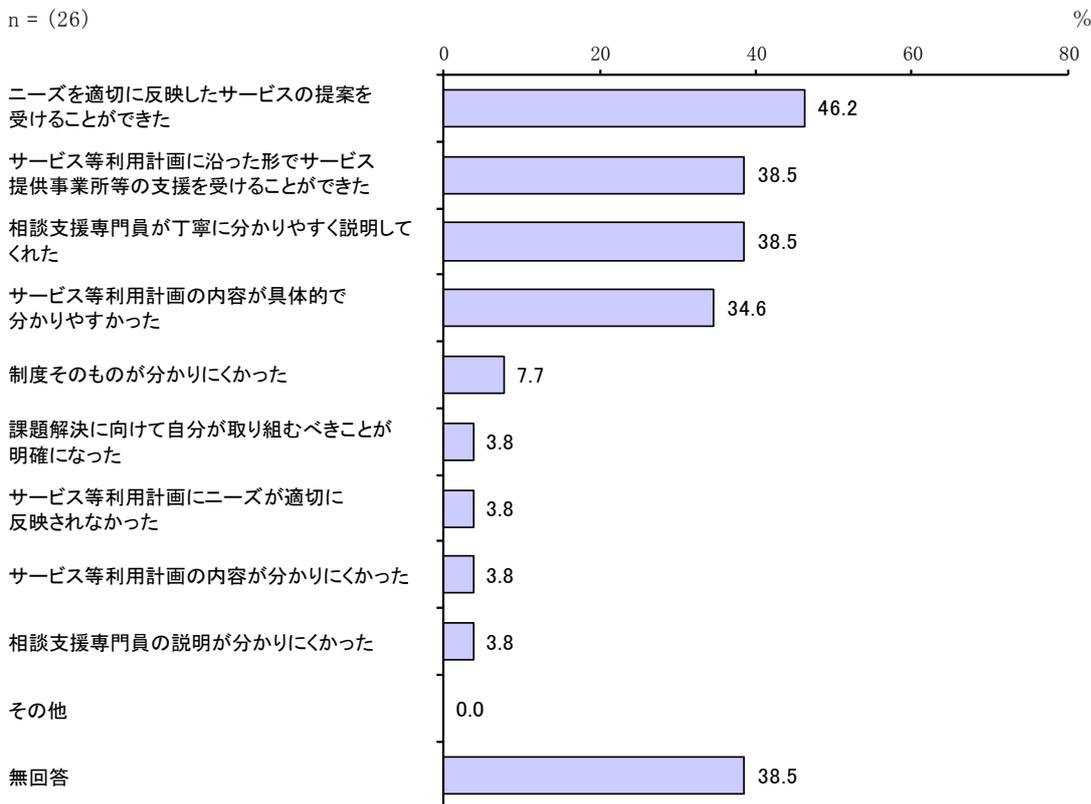
「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」の割合が
57.7%と最も高く、次いで「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」の割合が
11.5%となっています。



問 85 【これまでに相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方におたずねします。】

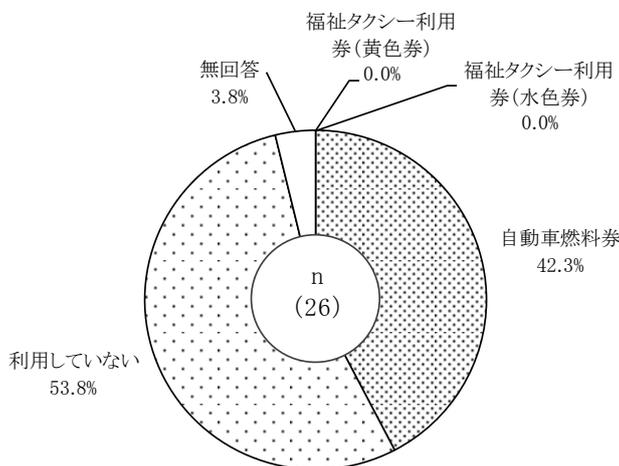
サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか（○は4つまで）

「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」、「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」の割合が 38.5%となっています。



問 86 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

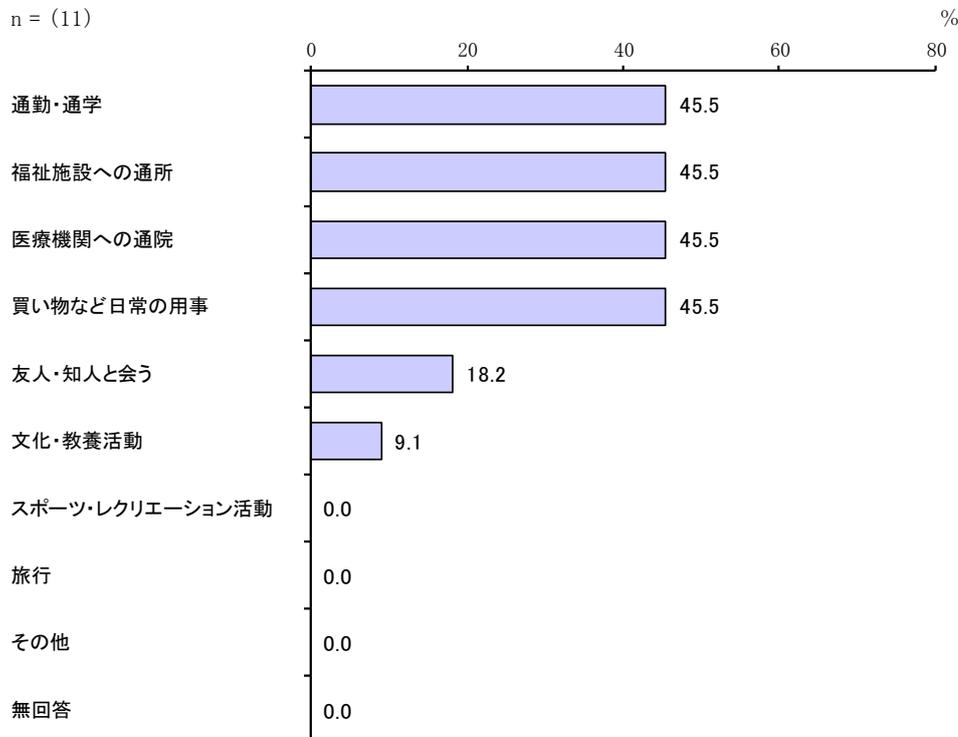
「利用していない」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「自動車燃料券」の割合が 42.3%となっています。



問 87 【問 86 でいずれかの券を利用している（1～3番）と回答した方におたずねします。】

福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（〇はいくつでも）

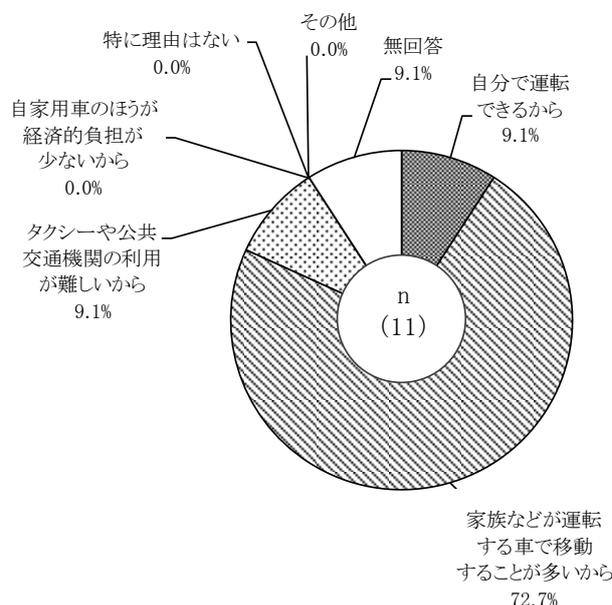
「通勤・通学」、「福祉施設への通所」、「医療機関への通院」、「買い物など日常の用事」の割合が45.5%と最も高くなっています。



問 88 【問 86 で自動車燃料券を利用していると回答した方におたずねします。】

福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。（〇は1つ）

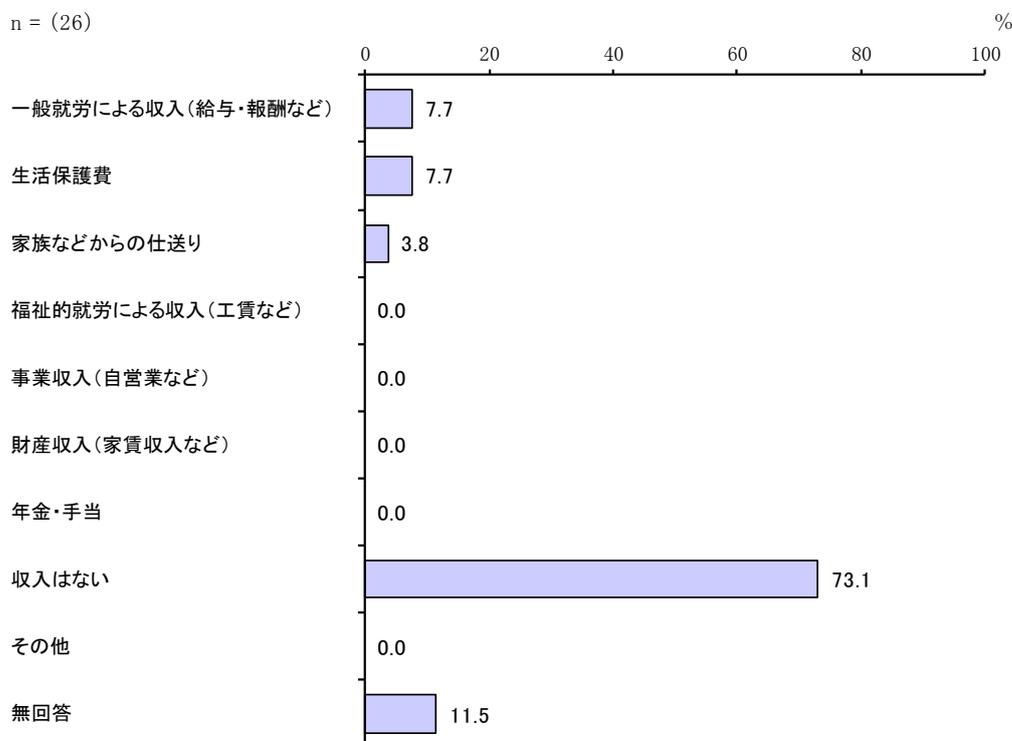
「家族などが運転する車で移動することが多いから」の割合が72.7%と最も高くなっています。



(16) 収入や利用者負担について

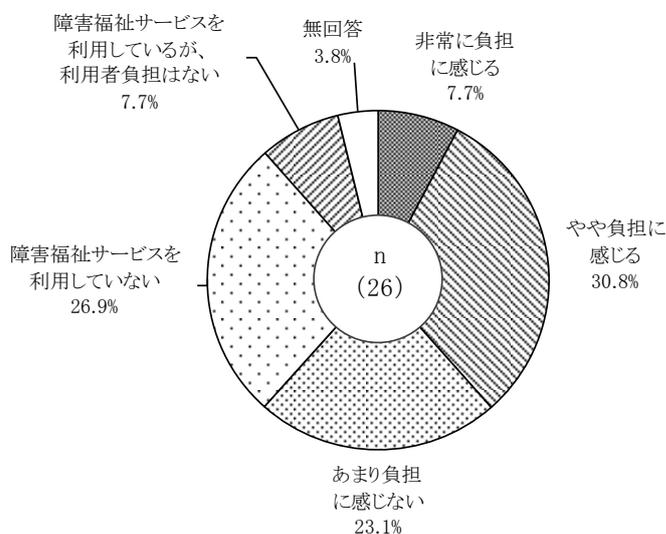
問 89 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

「収入はない」の割合が73.1%と最も高くなっています。



問 90 あなた(保護者の方)は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

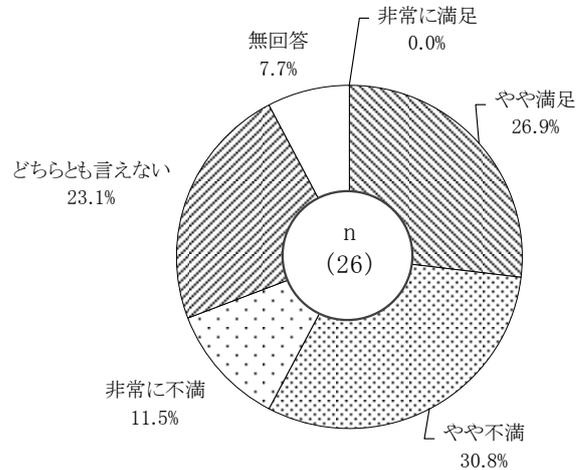
「やや負担に感じる」の割合が30.8%と最も高く、次いで「障害福祉サービスを利用していない」の割合が26.9%、「あまり負担に感じない」の割合が23.1%となっています。



(17) 障害者施策について

問 91 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「非常に満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 26.9%、「やや不満」と「非常に不満」をあわせた“不満”の割合が 42.3%となっています。



(18) 自由意見

問 92 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。

全部で12件の意見がありました。

	分類	件数	割合(%)
1	福祉サービス	6	50.0
2	医療・健康	0	0.0
3	生活環境	0	0.0
4	雇用・就労	0	0.0
5	将来について	1	8.3
6	経済事情・経済的支援	1	8.3
7	行政・制度	3	25.0
8	その他	1	8.3
合計		12	100.0

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

①福祉サービス

意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
もっと同じ障害を持った子同士のコミュニケーションを取れる場を増やしてほしいです。	自閉症スペクトラム障害	6	女性	家族
入所施設やグループホームを増やしてほしい。デイサービスも増やしてほしい。	その他	6	男性	家族
・障害が暮らしやすい社会にしていきたい ・障害の程度に関係なく、より一層充実したサービスの提供をしてほしい	自閉症・自閉的傾向 知的障害	4	男性	家族
双子で2人とも障害を持っています。双子で大変なのに、障害があるので更に大変です。実家も近くなく、主人の親は他界し、私の親も健康ではなく気軽に頼めません。主人も夜勤があり帰宅しない日もあります。私(母親)が育児中心で、病気になってはいけないとプレッシャーです。もう少し気軽に福祉サービスを利用できたらと思います。	自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害 注意欠陥・多動性障害 学習障害	12	男性	家族
子どもが来年4月から小学生になります。土・日は家族で過ごそうと思っています。障害のある子を持つ家族が行きやすいイベントや遊び場が増えたら嬉しいです。	自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害 アスペルガー症候群 注意欠陥・多動性障害 学習障害(LD)	14	男性	家族
短期入所施設(小学生の)を増やしてほしい。お葬式の時に預けられる施設がほしい。	自閉症・自閉的傾向 知的障害	4	男性	家族

②将来について

意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
放課後デイを利用したいが、どこもいっぱい聞き、見つかるか不安。	自閉症スペクトラム障害 知的障害	5	男性	家族

③経済事情・経済的支援について

意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
学校に行けないので、ライトポート、センター活動の交通費、お弁当等が大変です。	自閉症スペクトラム障害	4	男性	家族

④行政・制度について

意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
どこに行くのも誰かついていくが、電車に乗ったとき、公共の交通に乗れずタクシーに乗った時等、精神2級は何も割引がなく大変。	自閉症・自閉的傾向 知的障害	5	男性	家族
療育施設に2か所通所していますが、1日に1か所しか通所できないのが不満です。朝10時～14時での教室ならよいのですが、90分だけの教室、60分だけの教室は時間が短すぎる。せめて2か所通所できる日が少しでもあってほしいです。 障害児がもっと保育所や幼稚園に行きやすくしてほしい。大宮学園のような10時～14時利用できる教室を増やしてほしいです。	自閉症スペクトラム障害 アスペルガー症候群	17	男性	家族
手続きが多すぎる。一度にまとめるなどしてほしい。	自閉症スペクトラム障害 知的障害	6	男性	家族

⑤その他

意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
もっと早くから知っていればと後悔している。ベテランの教員ほど新しいことを知らず大丈夫という。高校は普通の県立に進学したが、なんの配慮もしてもらえなかった。発達障害は特に理解してもらえず、偏見によって通学もしにくい。よく我慢し3年間通えたと思う。放課後等デイサービスから高校に面談等を申し出てくれたが、完全無視だった。県立の普通科等は発達障害を受け入れたくなかったらしい。	自閉症・自閉的傾向 自閉症スペクトラム障害 知的障害	4	男性	家族

